本文

官報 第七千百四十一號 明治四十年四月二十三日 火曜日 印刷局

○法律

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル森林法改正法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月二十二日

內閣總理大臣 侯爵西園寺公望
農商務大臣 松岡康毅

法律第四十三號
森林法

第一章 總則

第一條 森林ハ其ノ所有者ニ依リ之ヲ分チテ御料林、國有林、公有林、社寺有林及私有林トス

前項ノ種別ニ依リ難キ森林ニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ヲ適用ス

第二條 森林ノ立木竹ヲ所有スル爲地上權、賃借權其ノ他土地ニ關シ使用又ハ收益ヲ爲ス權利ヲ有スル者アルトキハ其ノ權利者ヲ以テ本法ニ依ル森林所有者ト看做ス

前項ノ權利二個以上同一ノ土地ノ上ニ存在スル場合ニ於テハ最後ニ設定セラレタル權利ヲ有スル者ヲ以テ前項ノ森林所有者トス

第三條 本法ニ於テ開墾ト稱スルハ地租條例ニ規定スルモノノ外燒畑、切替畑其ノ他土地ノ形質ヲ變更スル行爲ヲ謂フ

第四條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル森林所有者、森林立木竹所有者又ハ土地ノ所有者若ハ占有者ノ權利義務ハ森林若ハ森林立木竹又ハ土地ノ所有權若ハ占有權ト共ニ其ノ承繼人ニ移轉ス

第五條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ森林所有者、森林立木竹所有者又ハ土地ノ所有者若ハ占有者ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第六條 民法第二百五十六條ノ規定ハ共有ノ森林ニ之ヲ適用セス但シ各共有者持分ノ價格ニ從ヒ其ノ過半數ヲ以テ分割ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケス

第七條 公園、社寺境內及命令ヲ以テ定ムル土地ニ付テハ本法ヲ適用セス但シ命令ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ書類ヲ送付スヘキ場合ニ於テ送付ヲ爲スコト能ハサルトキハ官報又ハ行政廳慣行ノ公布式ヲ以テ之ヲ公示シ其ノ公示ノ日ヨリ三十日ヲ經過シタルトキハ其ノ末日ニ於テ送付アリタルモノト看做ス

第二章 營林ノ監督

第九條 地方長官ニ於テ必要アリト認ムルトキハ公共團體又ハ社寺ノ代表者ヲシテ森林又ハ森林トシテ管理スヘキ土地ニ付施業案又ハ施業要領ヲ定メ其ノ認可ヲ受ケシムルコトヲ得

地方長官ニ於テ必要アリト認ムルトキハ前項ノ施業案又ハ施業要領ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十條 公有林、社寺有林又ハ私有林ニシテ荒廢ノ虞アルトキハ地方長官ニ於テ施業ノ方法ヲ指定スルコトヲ得

前項指定ノ方法ニ違反シ伐木ヲ爲シタル者ニハ地方長官其ノ伐採ヲ停止シ伐木跡地ニ造林ヲ命スルコトヲ得

第二十五條第二項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十一條 前條第二項ニ依リ造林ノ命令ヲ受ケタル者造林ヲ怠リタルトキハ行政官廳ニ於テ自ラ義務者ノ爲スヘキ行爲ヲ爲シ又ハ公共團體ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得

前項造林ニ要シタル費用ハ行政官廳ニ於テ國稅徵收法ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

第十二條 本法施行以前ヨリ荒廢ニ屬シタル森林ニ付新ニ造林シタルトキハ其ノ納稅義務者ノ申請ニ依リ其ノ造林シタル部分ニ限リ三十年以內地租ヲ免スルコトヲ得

前項ノ規定ハ原野、山岳又ハ荒蕪地ニ新ニ造林シタル場合ニ之ヲ準用ス

本文 7141 号

府縣市町村其ノ他ノ公共團體ハ前二項ニ依リ地租ヲ免セラレタル土地ニ對シ租税其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ス

第十三條　公有林、社寺有林又ハ私有林ニ付地方長官ハ土地ノ狀況ニ依リ箇所及期間ヲ指定シ落葉、落枝、柴草、土石、樹根、草根、切芝ノ採取若ハ採掘ニ關スル制限又ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第三章　保安林

第十四條　主務大臣ハ左ニ掲クル場合ニ於テ森林ヲ保安林ニ編入スルコトヲ得

一　土砂ノ壞崩、流出ノ防備ノ爲必要ナルトキ
二　飛砂ノ防備ノ爲必要ナルトキ
三　水害、風害、潮害ノ防備ノ爲必要ナルトキ
四　頽雪又ハ墜石ニ因ル危險ノ防止ノ爲必要ナルトキ
五　水源涵養ノ爲必要ナルトキ
六　魚附ノ爲必要ナルトキ
七　航行ノ目標ノ爲必要ナルトキ
八　公衆ノ衞生ノ爲必要ナルトキ
九　社寺、名所又ハ舊跡ノ風致ノ爲必要ナルトキ

第十五條　主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキ又ハ保安林トシテ存置スルノ必要ナシト認ムルトキハ保安林ヲ解除スルコトヲ得

第十六條　保安林ノ編入解除ハ其ノ森林所在ノ府縣市町村又ハ之ニ準スヘキ者其ノ他直接利害ノ關係ヲ有スル者ヨリ地方長官ヲ經由シ主務大臣ニ申請スルコトヲ得

前項ノ申請ニ係ル森林ニ付不編入又ハ不解除ノ處分アリタルトキハ實地ノ狀況ニ著シキ變更ヲ生シタル場合ニ非サレハ同一理由ニ依リ再ヒ之ヲ申請スルコトヲ得ス

第十七條　保安林ノ編入解除ノ申請アリタル場合ニ於テ前條第一項ノ條件ヲ具備セス又ハ同條第二項ノ規定ニ違反シタルモノト認ムルトキハ地方長官ハ申請書ヲ却下スルコトヲ得

前項ノ處分ニ對シ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第十八條　保安林ノ編入解除ヲ爲サムトスルトキ又ハ地方長官其ノ申請ヲ受理シタルトキハ地方長官ニ於テ其ノ旨ヲ森林所有者、土地所有者其ノ他土地ニ付登記シタル權利ヲ有スル者ニ通知シ且慣行ノ公布式ヲ以テ之ヲ告示シ森林所在ノ市町村役場ニ之ヲ掲示スヘシ

地方長官ハ前項告示ノ日ヨリ三十日ヲ經過シタル後保安林ノ編入解除ヲ地方森林會ノ議ニ付スヘシ

第十九條　地方森林會ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條　第十八條ノ告示ニシテ保安林編入ニ關スルモノナルトキハ其ノ告示ノ日ヨリ第二十三條ノ告示ノ日迄其ノ森林ニ於テ木竹ノ伐採、開墾又ハ土石、切芝、樹根、草根、埋木ノ採取若ハ採掘ヲ爲スコトヲ得ス但シ地方長官ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條　保安林ノ編入解除ニ關シ直接利害ノ關係ヲ有スル者其ノ編入解除ニ異議アルトキハ第十八條ノ告示ノ日ヨリ二十五日以內ニ意見書ヲ地方長官ニ提出スルコトヲ得

第二十二條　地方長官ハ保安林ノ編入解除ニ關スル地方森林會ノ決議書其ノ他ノ關係書類ニ意見書ヲ添ヘ之ヲ主務大臣ニ差出スヘシ

第二十三條　主務大臣ニ於テ保安林ノ編入解除ニ關スル處分ヲ爲シタルトキハ官報ヲ以テ之ヲ告示シ地方長官ヲシテ其ノ森林所有者ニ其ノ旨ヲ通知シ且所在ノ市町村役場ニ掲示セシムヘシ

第二十四條　保安林ノ編入解除ニ關シ直接利害ノ關係ヲ有スル者其ノ編入解除ニ關スル處分ニ不服アルトキハ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ前條告示ノ日ヨリ六十日以內ニ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十五條　地方長官ニ於テ保安林ノ編入ニ關シ必要アリト認ムルトキハ其ノ森林ニ於ケル木竹ノ伐採ヲ停止スルコトヲ得但シ其ノ停止期間ハ一箇年ヲ超ユルコトヲ得ス

前項ニ依リ木竹ノ伐採ヲ停止セラレタル森林ト雖保育ノ爲必要ナルトキ又ハ已ムコトヲ得サル事由アルトキハ地方長官ノ許可ヲ得テ之ヲ伐採スルコトヲ得

第二十六條　保安林ニ於テハ地方長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ木竹ノ伐採、傷害、開墾又ハ土石、切芝、樹根、草根、埋木ノ採取若ハ採掘ヲ爲シ又ハ家畜ヲ放牧スルコトヲ得ス

第二十七條　主務大臣ハ保安林ノ所有者ニ對シ前條ノ外其ノ使用收益ヲ制限若ハ禁止シ又ハ施業若ハ保護ノ方法ヲ指定スルコトヲ得

第二十八條　木竹ノ伐採ヲ禁止セラレタル保安林ノ所有者又ハ立木竹ノ所有者ハ之ニ因リテ生シタル直接ノ損害ニ限リ其ノ補償ヲ求ムルコトヲ得

前項保安林ノ所有者カ前條ノ指定ニ依リ造林ヲ爲シタルトキハ其ノ造林ノ費用ハ前項ノ損害ト看做ス

前二項ノ損害ハ政府之ヲ補償ス但シ政府ハ保安林編入ニ因リ特ニ利益ヲ受クル公共團體若ハ私人ヲシテ其ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシメ國税徵收法ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

第一項及第二項ノ損害ノ算定方法及其ノ補償請求期間ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十九條　前條第三項ニ依ル政府ノ補償金額ニ付不服アル者ハ其ノ補償金額ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ九十日以內ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前條第三項但書ニ依ル負擔ニ付不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

（二）

第三十條　先取特權、質權又ハ抵當權ハ第二十八條第一項ニ依リ受クヘキ補償金ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但シ其ノ拂渡前ニ差押ヲ爲スヘシ

第三十一條　國有地ノ上ニ存在スル森林ニシテ保安林ニ編入セラレタルトキハ政府ハ其ノ借地料ヲ免ス

第三十二條　主務大臣國土保安上必要アリト認ムルトキハ保安林以外ノ森林ニ付區域又ハ箇所ヲ定メテ開墾ヲ制限又ハ禁止スルコトヲ得

第三十三條　第二十六條ノ規定ニ違反シ、第二十七條又ハ前條ノ制限、禁止若ハ指定ニ違反シタル者アルトキハ地方長官ハ造林其ノ他復舊ニ必要ナル行爲ヲ命スルコトヲ得

第三十四條　第十一條ノ規定ハ前條ニ依リ造林ノ命令ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十五條　保安林ノ編入解除ニ關スル調査及國土保安ニ關シ地方長官ノ行フ調査ニ要スル費用ハ府縣ノ負擔トス但シ北海道ニ於テハ北海道地方費、沖繩縣ニ於テハ國庫ノ負擔トス

第三十六條　主務大臣ニ於テ必要アリト認ムルトキハ原野、山岳其ノ他ノ土地ニシテ第十四條第一號乃至第五號ノ場合ニ該當スルモノニ付本章ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第三十七條　第十八條第二項、第二十八條乃至第三十條ノ規定ハ御料林及國有林ニ之ヲ適用セス

第四章　土地ノ使用及收用

第三十八條　本章ニ於テ關係人ト稱スルハ第四十條第二項ニ依ル通知前使用又ハ收用スヘキ土地ニ關シテ權利ヲ有スル者及其ノ通知後ニ於テ通知前ヨリ既存セル權利ヲ承繼シタル者ヲ謂フ

第三十九條　本章ニ於テ補償金ト稱スルハ對價、使用料其ノ他土地所有者及關係人ノ通常受クヘキ損失ニ對スル補償金ヲ總稱ス

第四十條　森林ヨリ其ノ產物ヲ運搬スル爲又ハ運搬ニ關スル設備ノ爲必要アルトキハ地方長官ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得但シ御料局又ハ政府ノ使用ニ係ルトキハ當該官廳ハ之ヲ地方長官ニ協議スヘシ

地方長官ハ前項ノ許可ヲ與ヘ又ハ協議調ヒタルトキハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第一項ニ依リ土地ヲ使用セムトスル者ハ前項通知ノ後其ノ土地ニ關スル權利ヲ取得スル爲土地所有者及關係人ニ協議スヘシ

第四十一條　前條第二項ノ通知後一箇年以內ニ同條第三項ノ協議ヲ爲サヽルトキハ同條第一項ノ許可及協議ハ其ノ效力ヲ失フ第五十五條第一項ニ依リ地方森林會ノ裁決ヲ求メサルトキ亦同シ

第四十二條　土地ノ使用三箇年以上ニ亘ルトキ又ハ土地ノ形質ヲ變更スルトキハ所有者ハ其ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第四十三條　土地ノ一部ヲ收用スルニ因リテ殘地ヲ從來用ヰタル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ土地所有者ハ其ノ全部ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第四十四條　土地ヲ使用又ハ收用スルトキハ土地所有者及關係人ニ補償金ヲ拂渡スヘシ

第四十五條　土地ノ一部ヲ使用又ハ收用スルニ因リテ殘地ノ價格ヲ減シ其ノ他殘地ニ關シ損失ヲ生スヘキトキハ其ノ補償金ヲ拂渡スヘシ

第四十六條　土地ヲ使用又ハ收用スルニ因リテ通路、溝渠、墻柵其ノ他ノ工作物ノ新築、改築、增築又ハ修繕ヲ爲スノ必要ヲ生シタルトキハ其ノ補償金ヲ拂渡スヘシ

第四十七條　第四十條第二項ノ通知後土地ノ形質ヲ變更シ、工作物ノ新築、改築、增築若ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物件ヲ附加增置セムトスルトキハ土地所有者又ハ關係人ハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ許可ヲ受ケスシテ之ヲ爲シタル者ハ之ニ關スル補償金ヲ請求スルコトヲ得ス

第四十八條　第四十條第二項ノ通知後同條第一項ノ目的ニ土地ヲ使用スルコトヲ廢止シタル者ハ土地所有者又ハ關係人ノ受ケタル損失ニ對シ其ノ補償金ヲ拂渡スヘシ

第四十九條　土地所有者及關係人ハ土地ノ使用者若ハ收用者ヲシテ補償金ニ付相當ノ擔保ヲ供セシムルコトヲ得但シ土地ノ使用者若ハ收用者カ御料局、政府、府縣市町村及之ニ準スヘキモノナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十條　土地ノ使用又ハ收用ノ協議調ヒ、裁決確定シ又ハ判決アリタルトキハ補償金又ハ擔保ノ裁決確定セサルトキト雖土地ノ使用者又ハ收用者ハ其ノ裁決ニ依ル補償金ヲ供託シ又ハ擔保ヲ供シテ土地ヲ用ウルコトヲ得但シ土地ノ使用者又ハ收用者カ御料局、政府、府縣市町村及之ニ準スヘキモノナルトキハ補償金ノ供託及擔保ノ提供ヲ要セス

第五十一條　前數條ニ依ル補償金ノ拂渡若ハ供託ヲ爲サス又ハ擔保ヲ供セサルトキハ土地所有者及關係人ハ土地ヲ用ウルコトヲ拒ムコトヲ得

第五十二條　土地ヲ收用スルトキハ收用ノ時期ニ於テ所有權ハ收用者之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ消滅ス

土地ヲ使用スルトキハ使用ノ時期ニ於テ土地ノ使用者其ノ使用權ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ使用ヲ妨ケサル範圍ニ制限セラルルモノトス

第五十三條　土地ノ使用者其ノ使用ヲ終リタルトキハ土地ヲ原形ニ復シ又ハ原形ニ復セサルニ因リテ生スル損失ニ對シ補償金ヲ拂渡シテ之ヲ返還スヘシ

第五十四條　第三十條ノ規定ハ本章ノ補償金ニ之ヲ準用ス

第五十五條　土地ノ使用若ハ收用、補償金又ハ擔保ニ付協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ第四十條第二項ノ通知後一箇年以內ニ地方森林會ノ裁決ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ裁決中土地ノ使用又ハ收用ニ關スルモノニ付不服アル者ハ主務大臣

第7141号 本文

ニ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得但シ裁決ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ六十日ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十三條　森林組合ハ營利ヲ目的ト爲サル社團法人トス

第六十四條　森林組合ヲ設立スルニハ定款ヲ定メ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ

第六十五條　森林組合ノ組合員ハ其ノ地區內ニ於ケル森林ノ所有者ニ限ル

第六十六條　森林組合ヲ設立スルニハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス

一　組合員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意アルコト

二　前號同意者ノ所有スル森林ノ面積カ地區內ニ於ケル森林ノ總面積ノ三分ノ二以上ナルコト

第六十七條　森林組合成立シタルトキハ組合員タル資格ヲ有スル者ハ總テ組合員トス但シ命令又ハ定款ニ於テ加入ノ義務ナシト定メタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六十八條　定款ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　目的及事業

二　地區

三　名稱

四　事務所

五　出資又ハ費用分擔ノ方法

六　存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

前項ノ外定款ニ定ムルコトヲ要スヘキ事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十九條　流木竹ノ爲必要アル場合ニ於テハ沿岸ノ土地ニ立入ルコトヲ得

第七十條　前數條ノ外流木竹ニ付土地又ハ水ノ使用ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十一條　森林又ハ森林ノ事業ニ關シ實地調査ノ爲必要アルトキハ地方長官ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ニ立入リ、目標ヲ設置シ又ハ支障木竹ヲ伐採スルコトヲ得但シ御料局又ハ政府ニ於テハ地方長官ニ通知シテ之ヲ行フコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ損害アリタルトキハ賠償ヲ爲スヘシ

第七十二條　森林又ハ森林ノ事業ニ關シ實地調査ノ爲必要アルトキハ地方長官ニ通知スヘシ

第七十三條　森林組合ハ森林ノ事業ニ關シ協同シテ施業ヲ爲スニ非サレハ其ノ利用ノ目的ヲ達スルニ困難ナルトキ

三　森林產物ノ運搬ニ必要ナル工事ヲ爲シ又ハ之ヲ維持スル爲關係者ノ協同ヲ必要トスルトキ

四　森林ノ危害防止ニ付關係者ノ協同ヲ必要トスルトキ

第七十四條　造林ノ用ニ供スル土地ハ本章ノ適用上之ヲ森林ト看做ス

第七十五條　本法ニ規定スルモノノ外森林組合ノ設立、管理、解散、清算其ノ他組合ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六章　森林警察

第七十六條　地方長官ニ於テ必要アリト認ムルトキハ左ノ命令ヲ發シ若ハ處分ヲ爲スコトヲ得

一　森林產物ニ使用スル記號又ハ印章ヲ定メ所轄警察官署ニ屆出テシメ森林產物ノ搬出前之ヲ使用セシムルコト

二　前號ニ依リ屆出テタル記號印章ト同一又ハ類似ノ記號若ハ印章ノ使用ヲ禁止スルコト

三　前二號ノ規定ニ違反シタル者ニ對シ森林產物ノ運搬ヲ停止スルコト

四　森林產物ニ關スル營業者ヲシテ帳簿ヲ設ケ其ノ產物ノ出所、種類、數量及仕向先ヲ記載セシムルコト

五　前各號ノ外森林ノ危害防止ニ關スルコト

第七十七條　森林官吏、警察官吏又ハ犯罪搜査ニ付職權ヲ有スル官吏、公吏其ノ職務ヲ行フ爲必要アリト認ムルトキハ森林產物又ハ森林產物ニ關スル營業者ノ手板、帳簿及器具ニ付檢査ヲ行フコトヲ得

第七十八條　森林又ハ之ニ接近セル土地ニ火入ヲ爲サムトスルトキハ森林官吏又ハ警察官吏ノ許可ヲ受クヘシ

第七十九條　前條ノ火入ヲ爲サムトスルトキハ豫メ防火ノ設備ヲ爲シ且接近セル森林ノ所有者又ハ管理者ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第八十條　森林害蟲發生シ又ハ發生ノ虞アル森林ノ所有者之ヲ驅除豫防スヘシ

前項ノ場合ニ於テ必要アルトキハ森林所有者ハ警察官署ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ニ立入リ森林害蟲ノ驅除豫防ヲ爲スコトヲ得

第八十一條　森林害蟲蔓延シ又ハ蔓延ノ虞アル場合ニ於テ地方長官ハ森林害蟲ノ驅除又ハ豫防ノ爲必要ナル處置ヲ利害關係アル森林ノ所有者ニ命シ又ハ自ラ之ヲ行フコトヲ得蟲類以外ノ動物又ハ黴菌ヲ驅除豫防スルニ付主務大臣ノ認可ヲ得タル場合亦同シ

前項驅除豫防ノ費用ハ其ノ利害關係アル土地ノ面積又ハ地價ヲ準率ト爲シ森林所有者ノ負擔トス但シ地方長官自ラ驅除豫防ヲ行ヒタル場合ヲ除クノ外豫算用ノ負擔者ニ於テ別段ノ定ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

地方長官第一項ニ依リ自ラ驅除豫防ヲ行ヒタル場合ニ於ケル費用ノ徵收ニ付テハ行政執行法第六條ノ規定ヲ準用ス

第八十二條　害蟲驅除豫防法第七條及第八條ノ規定ハ前二條ニ依ル驅除豫防ニ之ヲ準用ス

第七章　罰則

第八十三條　森林ニ於テ其ノ產物ヲ窃取シタル者ハ森林窃盜トシ三年以下ノ重禁錮又ハ贓額以上贓額二倍以下ノ罰金ニ處ス其ノ產物ニシテ人工ヲ加ヘタルモノニ係ルトキ亦同シ

第八十四條　森林窃盜ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ二月以上三年以下ノ重禁錮及贓額以上贓額二倍以下ノ罰金ニ處ス

一　根株ヲ掘採、毀壞、燒燬若ハ隱蔽シ其ノ他罪跡ノ湮滅ヲ圖ルノ行爲アリタルトキ

二　贓物ヲ原料トシテ木炭、樟腦、椎茸、松根油其ノ他ノ物品ヲ製シタルトキ

三　贓物ヲ燃料トシテ鑛物ノ採取、精製若ハ石灰、煉瓦石、瓦其ノ他ノ物品ノ製造ニ使用シタルトキ

四　贓物ヲ運搬スル爲馬、牛、船舶、車輛若ハ橇ヲ使用シ又ハ運搬、造材ノ設備ヲ爲シタルトキ

五　保安林ニ於テ犯シタルトキ

六　森林產物採取ノ權利ヲ行使スルニ際シ犯シタルトキ

七　二人以上共同シ又ハ他人ヲ雇使シテ犯シタルトキ

八　森林保護ノ義務ヲ有スル者犯シタルトキ

九　差押ノ贓物ヲ隱匿、消費、滅却又ハ放棄シタルトキ

十　夜間犯シタルトキ

第八十五條　前條第二號ニ依リ製シタル物品ハ之ヲ森林窃盜ノ贓物ト看做ス

第八十六條　民法第百九十六條ノ規定ハ森林窃盜ノ贓物ノ回復ニ之ヲ適用セス但シ善意ノ取得者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八十七條　森林窃盜ノ贓物ナルコトヲ知リテ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若ハ牙保ヲ爲シタル者ハ一月以上三年以下ノ重禁錮及贓額以上贓額二倍以下ノ罰金ニ處ス

第八十八條　第八十三條、第八十四條及前條ノ贓額ノ二倍カ二圓ニ滿タサルトキハ雖其ノ罰金ハ二圓以下ニ下スコトヲ得ス

第八十九條　他人ノ森林ニ放火シタル者ハ輕懲役ニ處ス因テ主產物ヲ燒燬シタル者ハ自己ノ森林ニ放火シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス因テ他人ノ森林ノ主產物ヲ燒燬シタル者ハ五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第九十條　第八十三條、第八十四條及前條第二項ノ罪ヲ犯サムトシテ未タ遂ケサル者ハ刑法未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第九十一條　森林ノ爲設ケタル標識ヲ移轉、汚損シ又ハ毀壞シタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス但シ刑法第四百二十條ノ適用ヲ妨ケス

第九十二條　立木竹、木材又ハ根株ニ附シタル他人ノ記號印章ヲ變更又ハ消除シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十三條　他人ノ森林內ニ工作物ヲ設ケタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

許可　7141　号　本文

他人ノ森林ヲ開墾シタル者亦同シ

前項ノ犯罪ニヨテ保安林ニ開墾禁止ノ森林ニ係ルトキハ六月以下ノ重禁錮及二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十四條　他人ノ森林内ニ於テ放牧シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十五條　第十三條ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十六條　第二十條ニ違反シ又ハ第二十五條第一項ノ停止ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十七條　第二十六條ニ違反シ又ハ第三十二條ノ制限若ハ禁止ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十八條　第二十七條ノ制限、禁止又ハ指定ニ違反シタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十九條　前三條ノ場合ニ於テ木竹ヲ伐採又ハ傷害シタル者ニ對スル罰金ハ其ノ伐採又ハ傷害シタル木竹ノ價格ノ二倍ニ達セシムルコトヲ得

第百條　第七十六條第二號又ハ第三號ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百一條　第七十七條ノ檢査ヲ拒ミタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル

第百二條　第七十八條又ハ第七十九條ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス因テ他人ノ森林ヲ燒燬シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス他人ノ森林ニ於テ焚火ヲ爲シタル者亦同シ

第百三條　第七十六條第一號第四號若ハ第五號又ハ第八十一條第一項ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第百四條　第三十六條ニ依ル土地ハ本章ノ適用上之ヲ森林ト看做ス

第八章　附則

第百五條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第百六條　北海道、沖繩縣其ノ他勅令ヲ以テ指定スル島嶼ニ付テハ本法中保安林ニ關スル規定ニ限リ之ヲ施行ス

前項ノ外本法ノ規定ヲ施行スルノ必要アルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

前二項ノ場合ニ於テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第百七條　本法施行前森林ヲ荒シモノニシテ本法施行以前ヨリ荒廢ニ屬シタルモノハ地方長官ニ於テ造林ヲ命スルコトヲ得

前項ニ依リ造林ノ命令ヲ受ケタル者カ造林ヲ怠リタル場合ニ付テハ第十一條ノ規定ヲ準用ス

第百八條　舊法第三十條ニ依リ保安林ト爲シタルモノニシテ本法施行ノ際現ニ保安林タルモノハ之ヲ保安林トス

第百九條　公有林又ハ社寺有林ニ付本法施行前地方長官ノ認可ヲ受ケ又ハ地方長官ニ屆出テタル施業案又ハ施業要領ハ第九條ニ依ル認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第百十條　舊法又ハ舊法ニ基キテ發シタル命令ノ規定ニ依リテ爲シタル處分、裁決、申請、請求、手續其ノ他ノ行爲ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス但シ本法ニ基キテ發スル命令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百十一條　舊法ニ依リ本法施行前ニ進行ヲ始メタル期間カ本法中之ニ相當スル期間ヨリ長キトキハ舊法ノ規定ニ從フ但シ其ノ殘期カ本法施行ノ日ヨリ起算シ本法中之ニ相當スル期間ヨリ長キトキハ本法施行ノ日ヨリ起算シテ本法ノ規定ヲ適用ス

第百十二條　舊法第二十八條ニ依ル補償ノ請求ハ本法施行ノ日ヨリ一箇年ヲ經過スルトキハ之ヲ爲スコトヲ得ス

御名御璽

明治四十年四月二十二日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望

勅令

朕明治三十九年勅令第五十號中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月二十二日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望

農商務大臣　松岡康毅

勅令第百四十二號

明治三十九年勅令第五十號中左ノ通改正ス

「二八」ヲ「二八」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕製鐵所官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月二十二日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望

農商務大臣　松岡康毅

勅令第百四十三號

製鐵所官制中左ノ通改正ス

第二條中「二八」ヲ「四八」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕鑛山監督署官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月二十二日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望

農商務大臣　松岡康毅

勅令第百四十四號

鑛山監督署官制中左ノ通改正ス

第二條中「七八」ヲ「十八」ニ「三十四八」ヲ「四十六八」ニ「六十八」ヲ「七十八」ニ「百十四八」ヲ「百四十五八」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕糖業改良事務局官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月二十二日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望

農商務大臣　松岡康毅

第7141号

勅令第百四十五號

糖業改良事務局官制中左ノ通改正ス

第一條　糖業改良事務局ハ農商務大臣ノ管理ニ屬シ左ノ事務ヲ掌ル

一　糖業ノ調査及試驗ニ關スル事項

二　糖業ニ關スル講話及講習ニ關スル事項

三　土壤、肥料、砂糖其ノ他糖業ニ關係アル物料ノ分析鑑定ニ關スル事項

四　甘蔗種苗ノ配布ニ關スル事項

五　糖業ニ關スル補助及共進會品評會等ニ關スル事項

第二條中「三人」ヲ「四人」ニ、「八人」ヲ「十人」ニ、「五人」ヲ「六人」ニ改ム

第四條　事務官ハ鹿兒島縣事務官及沖繩縣事務官ノ中各一人ヲ以テ之ニ充ツ

局長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕花莚檢査所官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月二十二日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

農商務大臣　松岡康毅

勅令第百四十六號

朕水產講習所官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月二十二日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

農商務大臣　松岡康毅

勅令第百四十七號

水產講習所官制中左ノ通改正ス

第二條中技師ノ下「五人」ヲ「六人」ニ、「三人」ヲ「四人」ニ、「九人」ヲ「十二人」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕統監府通信官署職員官等給與令中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月二十二日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

農商務大臣　松岡康毅

勅令第百四十八號

統監府通信官署職員官等給與令中左ノ通改正ス

第二條第二項中「統監府通信管理局事務官及通信事務官ニ付テハ統監府及理事廳職員給與令中奏任文官本俸第二號表」ヲ「統監府通信管理局事務官ニ付テハ統監府及理事廳職員給與令中奏任文官本俸第一號表、通信事務官ニ付テハ同第二號表」ニ改ム但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ高等官六等ニ敘セラレタル事務官補ニハ千五百圓迄ヲ給スルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕統監府及所屬官署職員ノ俸給、手當及宿舍料前金渡ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月二十二日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

勅令第百五十號

統監府及所屬官署職員交通至難ニシテ郵便局所ノ設ナキ場所ニ在勤スル場合ニ於テハ其ノ俸給、手當及宿舍料ハ六箇月分以內ニ於テ前金渡ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場所ハ統監之ヲ指定ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

御名御璽

明治四十年四月二十二日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

勅令第百四十九號

統監府及所屬官署職員ニハ宿舍料ヲ給ス但シ官舍ニ居住セシムルモノハ此ノ限ニ在ラス

前項宿舍料ノ額ハ統監之ヲ定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕統監府及所屬官署職員ノ俸給、手當及宿舍料前金渡ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月二十二日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

勅令第百五十一號

統監府及所屬官署職員ニハ宿舍料ヲ給ス但シ官舍ニ居住セシムルモノハ此ノ限ニ在ラス

前項宿舍料ノ額ハ統監之ヲ定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○省令

外務省令第二號

居留民團法施行規則左ノ通相定ム

明治四十年四月二十三日

外務大臣　子爵林董

居留民團法施行規則

第一章　總則

第一條　居留民團ノ設立、廢止、分合又ハ其ノ地區ノ變更ヲ要スルトキハ外務大臣之ヲ定ム

前項ノ處分ニ付財產處分ヲ要スルトキハ設立ノ場合ヲ除クノ外關係アル居留民會ノ意見ヲ徵シ直接上級監督官廳ノ認可ヲ得テ領事之ヲ定ム

第二條　居留民團ノ地區內ニ住居スル帝國臣民又ハ該地區內ニ事務所ヲ有スル帝國法人ノ居留民團ノ財產及營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ負擔ヲ分任スル義務ヲ負フ

第三條　居留民團ハ其ノ地區內ニ住居スル帝國臣民又ハ該地區內ニ事務所ヲ有スル帝國法人ノ居留民團ニ對スル權利義務、居留民團ノ事務、居留民團ノ財產及營造物ニ關スル事項ニ付條例ヲ設クルコトヲ得

第四條　本規則ニ基キ發スル領事館令ハ公使ヲ經テ外務大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ居留民團法第五條第一項但書ノ場合ニ於テハ公使ヲ經ルコトヲ要セス

第五條　本規則ニ於テ領事ト稱スルハ居留民團ノ地區ヲ管轄スル總領事、領事、副領事及其ノ代理者ヲ謂フ

第六條　居留民團ノ地區內ニ住居セス又ハ事務所ヲ有セスト雖モ六箇月以來第八條ニ規定シタルト同樣ノ居留民團課金ヲ負擔スル帝國臣民又ハ帝國法人ニ付テハ本規則中居留民團ノ地區內ニ住居スル帝國臣民又ハ該地區內ニ事務所ヲ有スル帝國法人ニ關スル規定ヲ準用ス

第七條　帝國專管居留地內ニ於テ土地又ハ家屋ヲ所有シ若ハ占有シ、物件ヲ所有シ使用シ若ハ占有シ又ハ特定ノ行爲ヲ爲ス外國人又ハ外國法人ニシテ自國領事ノ公ノ認許書ヲ得テ居留民團ニ關スル帝國ノ法令及條例ニ從フモノハ本規則中帝國臣民又ハ帝國法人ニ關スル規定ヲ準用ス

帝國專管居留地所在地方ノ當該國住民若ハ法人又ハ該地方ニ領事官ヲ有セサル國ノ臣民、人民若ハ法人ニシテ帝國專管居留地內ニ於テ土地又ハ家屋ヲ所有シ若ハ占有シ、物件ヲ所有シ使用シ若ハ占有シ又ハ特定ノ行爲ヲ爲ス者ニ對シテハ居留民團ニ關スル帝國ノ法令及條例ヲ準用ス

第二章　居留民會

第八條　左ニ揭ケタル者ハ居留民會議員トス

第7141号

一　居留民團ノ地區内ニ住居スル帝國臣民ニシテ六箇月以來居留民團課金ヲ負擔スル者
二　居留民團ノ地區内ニ事務所ヲ有スル帝國法人ニシテ六箇月以來居留民團課金ヲ負擔スル者

前項課金ノ種類及金額ハ領事館令ヲ以テ之ヲ定ム

第九條　左ニ掲ケタル者ハ居留民會議員タルコトヲ得ス

一　剥奪公權者又ハ停止公權者
二　家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者
三　禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ裁判確定スルニ至ル迄ノ者
四　租稅又ハ公課ノ滯納處分中ノ者
五　在留禁止ヲ命セラレ滿期渡航後二箇年ヲ經サル者

第十條　第八條第一號ニ掲ケタル者不在又ハ疾病ノ爲居留民會ニ出席スルコト能ハサルトキハ代人ニ依リ議決ニ加ハルコトヲ得

前項ノ代人ハ書面ニ依リ委任ヲ證スルコトヲ要ス

第十一條　法人未成年者女子禁治産者及準禁治産者ハ代人ニ依ルノ外議決ニ加ハルコトヲ得ス但シ左ノ規定ニ從フヘシ

一　法人ハ其ノ法定代理人又ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ヲ代人ト爲スコトヲ要ス
二　未成年者又ハ禁治産者ハ其ノ法定代理人ヲ代人ト爲スコトヲ要ス
三　妻ハ其ノ夫ヲ代人ト爲スコトヲ要ス
四　未婚ノ女子又ハ寡婦ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ヲ代人ト爲スコトヲ要ス
五　準禁治産者ハ其ノ保佐人ヲ代人ト爲スコトヲ要ス

前項ノ代人ハ書面ニ依リ其ノ代人タル資格ヲ證スルコトヲ要ス

第十二條　未成年者女子、禁治産者、準禁治産者及第九條ニ掲ケタル者ハ代人ト爲ルコトヲ得ス

第十三條　居留民會議員ハ名譽職トス

第十四條　行政委員會ハ第八條ノ規定ニ依リ居留民會議員タルヘキ者ヲ調査シ每年一回議員名簿ヲ調製シタル上之ヲ各議員ニ通知シ且之ヲ公告スヘシ

議員名簿ニ登錄セラレタル者ニ非サレハ議員タルコトヲ得ス

議員名簿調製ノ時期ハ領事館令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條　居留民會議員名簿ハ之ヲ居留民團事務所ニ備付五日ヲ下ラサル期間關係者ノ縱覽ニ供スヘシ關係者異議アルトキハ縱覽期間内ニ之ヲ領事ニ申立テ決定ヲ求ムルコトヲ得其ノ決定ニ不服アル者ハ直接上級監督官廳ノ決定ヲ求ムルコトヲ得

議員名簿ハ居留民會通常會開會前十日ヲ以テ確定シ確定ノ時ヨリ一箇年間之ヲ据置クヘシ但シ前項ノ決定確定シタル場合ニ於テ其ノ決定カ名簿ト一致セサルトキハ名簿ヲ修正スヘシ

第十六條　居留民會議員名簿ニ登錄セラレタル者ニシテ議員タル資格ヲ有セス又ハ之ヲ有セサルニ至リタルトキハ行政委員會ハ之ヲ其ノ本人ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル者行政委員會ノ處分ニ不服アルトキハ領事ニ申立テ決定ヲ求ムルコトヲ得其ノ決定ニ不服アル者ハ直接上級監督官廳ノ決定ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ決定ニ依リ議員タル資格ヲ有セサルコト確定シタルトキハ行政委員會ニ於テ名簿ヲ修正スヘシ

第十七條　居留民會ノ議決ヲ經ヘキ事項ノ概目左ノ如シ

一　歲入出豫算ヲ定ムルコト及決算報告ヲ認定スルコト
二　居留民團ノ課金、使用料、手數料及加入金ノ賦課徵收ニ關スルコト
三　居留民團ノ公債ヲ募集シ及權利ノ得喪ヲ目的トスル行爲ヲ爲スコト
四　不動産ニ關シ權利ノ得喪ヲ目的トスル行爲ヲ爲スコト
五　基本財産ノ設置管理及處分ニ關スルコト
六　歲入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ拋棄ヲ爲スコト
七　財産及營造物ノ管理及處分ノ方法ヲ定ムルコト
八　居留民團ニ係ル訴訟又ハ和解ニ關スルコト
九　敎育ニ關スルコト殊ニ幼稚園學校及圖書館ノ設立維持ニ關スルコト
十　消防及義勇隊ニ關スルコト
十一　貧民救助ニ關スルコト
十二　衞生ニ關スルコト殊ニ傳染病豫防及屍ノ供給、下水ノ排泄竝市場、病院、墓地及火葬場等ニ關スルコト
十三　交通ニ關スルコト殊ニ道路、護岸等ノ維持、改修、街燈ノ設備竝交通機關ニ關スルコト
十四　公園又ハ公衆ノ娛樂ニ供スヘキ設備ニ關スルコト
十五　其ノ他法令及條約ニ依リ居留民會ノ權限ニ屬スル事項

第十八條　居留民會ハ其ノ權限ニ屬スル事項ヲ行政委員會ニ委任スルコトヲ得

第十九條　居留民會ニ於テハ日本語ヲ用ウ

居留民會ノ議事ハ之ヲ議事錄ニ存スヘシ

第二十條　居留民會ハ居留民團ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ監督官廳ニ呈出スルコトヲ得

第二十一條　居留民會ハ監督官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

第二十二條　居留民會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スヘキ場合ニ於テ居留民會其

ノ意見ヲ呈出セサルトキハ當該官廳ハ其ノ意見ヲ俟タスシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十三條　居留民會ハ帝國臣民タル議員中ヨリ議長ヲ選擧スヘシ議長ノ任期ハ翌年ノ居留民會通常會ニ於テ議長ノ選擧アル迄トス

議長故障アルトキハ帝國臣民タル議員中ヨリ假議長ヲ選擧シ議長ノ職ヲ行ハシムヘシ

議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ維持ス

本規則ニ從ヒ始メテ居留民會組織セラレ議長ノ選擧アル迄ノ間又ハ本條第二項假議長ノ選擧ニ當リテハ議長ノ職ハ假ニ出席議員中ノ年長者之ヲ行フ

第二十四條　居留民會ハ通常會及臨時會トシ領事之ヲ招集ス

通常會ハ每年一回之ヲ開キ其ノ會期ハ七日以内トス

臨時會ハ領事必要ト認メタルトキ又ハ行政委員會若ハ居留民會議員五分ノ一以上ノ請求アリタルトキ之ヲ開キ其ノ會期ハ三日以内トス

居留民會ノ議事ニ付スヘキ事件ハ少クトモ開會ノ一週間前ニ之ヲ告知スヘシ但シ急速ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條　居留民會ハ議員定數ノ三分ノ一以上出席シ又ハ代表セラルルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ通常會ニシテ同一ノ事件ニ付集會再回ニ至ルモ仍三分ノ一ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十六條　居留民會ノ議事ハ出席者ノ過半數ニ依リ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第二十七條　居留民會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設ケ領事ノ認可ヲ受クヘシ

第二十八條　居留民會ニ書記ヲ置キ議長ニ隷屬シ庶務ヲ處理セシム

第二十九條　本章ニ規定スルモノノ外居留民會ニ關シ必要ナル規定ハ領事館令ヲ以テ之ヲ定ム

第三章　行政委員會及吏員

第三十條　居留民團ニ行政委員及豫備行政委員ヲ置ク

居留民會ハ每年其ノ通常會ニ於テ議員中ヨリ行政委員及豫備行政委員ヲ選擧シ領事ノ認可ヲ受クヘシ

行政委員ハ過半數帝國臣民タルコトヲ要ス

行政委員ノ員數、選擧及認可ニ關スル規定ハ領事館令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十一條　行政委員ハ代人ヲ許サス但シ法人ハ其ノ代人ヲ指定シテ行政委員ニ選擧セラルルコトヲ得

第十二條ニ列擧シタル者ハ前項ノ代人タルコトヲ得ス

第三十二條　左ニ掲ケタル者ハ行政委員タルコトヲ得ス

一　在職官吏
二　居留民團ノ有給吏員
三　神官、神職、僧侶其ノ他諸宗ノ敎師
四　學校敎員
五　第十二條ニ列擧シタル者

第三十三條　行政委員確定シタルトキハ領事ハ直ニ之ヲ各行政委員ニ通知シ且之ヲ公告スヘシ

行政委員已ムヲ得サル事故アルトキハ領事ノ許可ヲ得テ辭任スルコトヲ得

行政委員ハ重任スルコトヲ得

第三十四條　行政委員ハ行政委員會ヲ組織シ帝國臣民タル行政委員中ヨリ議長及議長代理者ヲ選擧スヘシ

議長及議長代理者共ニ故障アルトキハ帝國臣民タル行政委員中ヨリ假議長ヲ選擧シ議長ノ職ヲ行ハシムヘシ

議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ維持ス

議長ハ行政委員會ノ名ヲ以テ文書ノ往復ヲ爲シ及之ニ署名ス

本規則ニ從ヒ始メテ行政委員會組織セラレ議長及議長代理者ノ選擧アル迄ノ間又ハ本條第二項假議長ノ選擧ニ當リテハ議長ノ職ハ假ニ出席委員中ノ年長者之ヲ行フ

第三十五條　行政委員會ノ議事ハ出席委員ノ過半數ニ依リ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

行政委員ノ定足數ハ領事館令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十六條　第十九條ノ規定ハ行政委員會ニ之ヲ準用ス

行政委員ニシテ日本語ヲ解セサル者アルトキハ領事ノ許可ヲ得テ通譯者ヲ用非ルコトヲ得

第三十七條　行政委員會ハ其ノ執務章程ヲ定メ領事ノ認可ヲ受クヘシ

第三十八條　行政委員會ハ必要ニ應シ特別委員會ヲ設クルコトヲ得

特別委員會ノ組織、權限其ノ他必要ナル事項ハ行政委員會ニ於テ之ヲ定メ領事ノ認可ヲ受クヘシ

第三十九條　行政委員中資格ノ喪失其ノ他ノ事由ニ依リ闕員ヲ生シ領事之カ補闕ヲ必要ト認ムルトキハ豫備行政委員中ヨリ之ヲ補フヘシ但シ補闕ノ順序ハ領事館令ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ規定ハ行政委員ノ選擧アリタル後領事ノ認可ヲ得サル者アルカ爲定數ノ行政委員ヲ得ルコト能ハサル場合ニ之ヲ準用ス

豫備行政委員ヲ以テ行政委員ノ補闕ヲ爲スコト能ハサルニ至リタルトキハ居留民會臨時會ヲ開キ補闕選擧ヲ爲スヘシ

第四十條　行政委員ハ名譽職トス

第四十一條　行政委員會ハ居留民團ヲ代表シ且居留民團ノ事務ヲ處理ス

行政委員會ノ處理スル事務ノ概目左ノ如シ

本文ノ終

一　居留民會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發シ及其ノ議決ヲ執行スルコト
二　財產及營造物ヲ管理スルコト
三　收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スルコト
四　證書及公文書類ヲ保管スルコト
五　居留民團ノ課金、使用料、手數料及加入金等ヲ賦課徵收スルコト
六　其ノ他法令及條約ニ依リ行政委員會ノ權限ニ屬スル事項
第四十二條　行政委員中一名ヲ會計主任トシ帝國臣民タル行政委員中ヨリ行政委員會ニ於テ之ヲ選舉ス
會計主任ハ居留民團ノ出納其ノ他會計事務及第四十四條ニ關スル國ノ出納其ノ他會計事務ヲ掌ル
第四十三條　居留民團ニ必要ノ吏員ヲ置キ行政委員會ニ附屬セシム
前項吏員ノ定數、任免、職務、任期、給與及懲戒ニ關スル事項ハ行政委員會ニ於テ之ヲ定ム
第四十四條　行政委員會ハ法令、條約又ハ領事ノ委任ニ依リ居留民團ノ地區內ニ於ケル國ノ行政事務ヲ掌ル
前項ノ事務ヲ執行スル爲必要ナル費用ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外居留民團ノ負擔トス
第四十五條　行政委員會ハ居留民會其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキハ領事ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決ヲ經ヘキ事件ヲ專決處分スルコトヲ得
前項ノ處分ハ次期ノ居留民會ニ之ヲ報告スヘシ
第四十六條　第三十條第四項、第三十一條乃至第三十三條及第四十條ノ規定ハ豫備行政委員ニ之ヲ準用ス
第四十七條　行政委員會ニ於ケル議長及會計主任ノ選舉、行政委員及豫備行政委員ノ離任其ノ他行政委員及豫備行政委員ニ關シ必要ナル規定ハ領事館令ヲ以テ之ヲ定ム

第四章　居留民團ノ財務

第四十八條　居留民團ハ不動產又ハ積立金等ヲ以テ一般又ハ特別ノ基本財產トシ之ヲ維持スヘシ
領事ハ必要ト認ムルトキハ額ヲ定メテ基本財產ノ蓄積ヲ命スルコトヲ得
第四十九條　居留民團ハ必要ナル費用竝法令及條約ニ依ル費用ヲ負擔スヘシ
居留民團ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得
第五十條　居留民團ハ課金、使用料、手數料及加入金等ヲ賦課徵收スルコトヲ得
第五十一條　國ノ用ニ供スル土地家屋又ハ物件ニ對シテハ居留民團ハ國ニ課金ヲ賦課スルコトヲ得ス
第五十二條　居留民ノ一部ヲ利スル營造物ノ建設、維持ノ費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシメ居留民團ノ一區域ヲ利スル營造物ノ建設、維持ノ費用ハ其ノ區域內ニ於テ課金ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシムルコトヲ得但シ營造物ノ收入アルトキハ先ツ其ノ費用ニ充ツヘシ
居留民ノ一部又ハ居留民團ノ地區ノ一部ニ對シ特ニ利益アル事項ニ關シテハ不均一ノ賦課ヲ爲スコトヲ得
第五十三條　居留民團ノ地區內ニシテ帝國專管居留地以外ノ地方ニ住居スル帝國臣民又ハ該地方ニ事務所ヲ有スル帝國法人ニシテ外國ノ政府又ハ公共團體若ハ之ニ準スヘキモノニ課金ヲ納付スル者ニ對シテハ其ノ同種ノ居留民團課金又ハ其ノ他ノ負擔ノ全部若ハ一部ヲ免除スルコトヲ得
第五十四條　居留民團課金ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ納入ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ一箇月以內ニ行政委員會ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得使用料、手數料又ハ加入金等ノ徵收ニ關シ亦同シ
居留民團ノ財產又ハ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ行政委員會ニ申立ツルコトヲ得
本條ノ異議ハ行政委員會之ヲ決定ス其ノ決定ニ不服アル者ハ領事ノ決定ヲ求ムルコトヲ得
第五十五條　居留民團ノ課金、使用料、手數料及加入金等ヲ定期內ニ納メサル者アルトキハ行政委員會ハ國稅ノ徵收ニ關スル規定ニ遵據シテ之ヲ處分スヘシ但シ該規定ニ據リ難キトキハ領事館令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得
居留民團課金ノ賦課ヲ受ケタル者ノ中無資力者アルトキハ行政委員會ノ意見ヲ以テ會計年度內ニ限リ納入ノ延期ヲ許スコトヲ得其ノ年度ヲ超ユル場合ニ於テハ居留民會ノ議決ニ依ル
第五十六條　居留民團ハ其ノ負債ヲ償還スル爲、居留民團ノ永久ノ利益トナルヘキ事業ノ爲又ハ天災事變等已ムヲ得サル場合ニ限リ居留民會ノ議決ヲ經テ居留民團債ヲ起スコトヲ得
居留民團債ヲ起スニ付居留民會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ其ノ變更ヲ要スルトキ亦同シ
居留民團ハ豫算內ノ支出ヲ爲スニ付必要アルトキハ居留民會ノ議決ヲ經テ一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得此ノ借入金ハ其ノ年度ノ收入ヲ以テ償還スヘシ
第五十七條　行政委員會ハ每會計年度歲入出豫算ヲ調製シ年度開始前ニ居留民會ノ議決ヲ經ヘシ
居留民團ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ
第五十八條　行政委員會ハ居留民會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得
第五十九條　豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ
豫備費ハ居留民會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第六十條　居留民團費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘキモノヲ除クノ外處分又ハ決定ヲ爲シタル日ヨリ十日以內ニ其ノ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ居留民會ノ議決ヲ經テ各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第六十一條　居留民團ハ條例ヲ以テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第六十二條　豫算ハ居留民會ノ議決ヲ經タル後直ニ領事ノ認可ヲ受クヘシ既定豫算ノ追加又ハ更正ニ付テモ亦同シ

前項ノ場合ニ於テ領事ハ理由ヲ示シ更正シテ認可スルコトヲ得但シ不服アル居留民團ハ直接上級監督官廳ノ決定ヲ求ムルコトヲ得

本條領事ノ認可確定シタルトキハ行政委員會ハ豫算又ハ其ノ追加若ハ更正ヲ公告スヘシ

第六十三條　會計主任ハ行政委員會ノ命令ニ依ルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

第六十四條　居留民團ノ出納檢查、出納閉鎖ノ期限、決算報告、豫算調製ノ式其ノ他財務ニ關シ必要ナル規定ハ領事館令ヲ以テ之ヲ定ム

第五章　居留民團ノ監督

第六十五條　監督官廳ハ居留民團ノ行政ヲ監督スル爲必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スコトヲ得

上級監督官廳ハ下級監督官廳カ居留民團ノ行政ニ關シ爲シタル命令又ハ處分ヲ停止シ又ハ取消スコトヲ得

第六十六條　居留民團債ヲ起シ竝起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スルトキハ領事、公使及外務大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ居留民團法第五條第一項但書ノ場合ニ於テハ公使ヲ經ルコトヲ要セス

第六十七條　左ニ揭ケタル事項ハ領事ノ認可ヲ受クヘシ

一　居留民團條例ヲ定ムルコト
二　居留民團ノ課金、使用料、手數料及加入金等ヲ新設シ又ハ變更スルコト
三　第五十二條ニ依リ居留民ノ一部若ハ居留民團ノ地區ノ一部ニ費用ヲ負擔セシメ又ハ不均一ノ賦課ヲ爲スコト
四　第五十三條ニ依リ居留民團課金又ハ其ノ他ノ負擔ノ全部若ハ一部ヲ免除スルコト
五　一時ノ借入金ヲ爲スコト
六　不動產ニ關シ權利ノ得喪ヲ目的トスル行爲ヲ爲スコト
七　基本財產ノ處分ニ關スルコト
八　寄附又ハ補助ヲ爲スコト
九　豫備費ノ支出ヲ爲スコト

第六十八條　居留民團ハ條例ヲ以テ居留民會ノ議決ヲ經テ定メタル金額ヲ超エサル範圍內ニ於テ更正シテ認可又ハ許可ヲ與フルコトヲ得

第六十九條　本規則ニ依リ異議ヲ申立テ又ハ監督官廳ノ決定ヲ求ムルハ別ニ期間ヲ定メタルモノヲ除クノ外處分又ハ決定ヲ爲シタル日ヨリ十日以內ニ之ヲ爲スヘシ

附　則

第七十條　居留民團設立ノ際其ノ地區內ニ居留スル帝國臣民ノ共同財產ニシテ慣例ニ依リ公共ノ目的ノ爲存スルモノハ之ヲ居留民團ノ財產ニ編入スルコトヲ得

居留民團設立ノ際其ノ地區內ニ居留スル帝國臣民ノ公共ノ目的ノ爲存スル從來ノ負債ハ之ヲ居留民團ノ負債ニ編入スルコトヲ得

本條ノ處分ノ爲必要ナル事項ハ領事館令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十一條　本規則ニ依リ始メテ居留民會成立シ及行政委員就任スルニ至ル迄ノ間其ノ職務ハ領事ノ指命スル者ニ於テ一時之ヲ施行スヘシ

陸軍省令第七號

明治三十五年陸軍省令第四號（不動產登記嘱託官吏指定ノ件）中左ノ通改正シ本日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十年四月二十三日　陸軍大臣　寺內正毅

「臨時陸軍建築部長」ヲ「臨時陸軍建築部本部長竝同支部長」ニ改メ「築城部本部長竝同支部長ノ下ニ「要塞司令部及對馬警備隊司令部工兵科將校」ヲ加ヘ「兵器支廠長」及「臺灣陸軍補給廠長竝同支廠長」ヲ削ル

○訓令

大藏省訓令第二十一號

警視廳　北海道廳　府縣　大臣官房會計課　造幣局　印刷局　煙草專賣局　稅關　稅務監督局　稅務署　樟腦事務局　釀造試驗所　鹽務局　大藏省臨時建築部

本年三月大藏省訓令第十二號大藏省所管歲入科目表歲入經常部第一款租稅第十六項舊稅追納中ニ第二目地租割ノ目ヲ追加ス

明治四十年四月二十三日　大藏大臣　法學博士阪谷芳郎

陸軍省訓令丙第九號

明治四十年度營舍所管歲入歲出科目表中ヘ左記ノ通增設ス

明治四十年四月二十三日　陸軍大臣　寺內正毅

歲入臨時部

款	項	目	節
雜收入（第四）			
	△利子收入		
		△利子收入	

△印增設

陸軍一般

官報　第七一四一號

○叙任及辭令

○明治四十年四月二十一日

○明治四十年四月二十二日

（二四）

○告示

第7141号　本文

明治四十年四月二十三日　印刷局

官報

第七一四一號　明治四十年四月二十三日（第三種郵便物認可）

目次

○勅令
○閣令
○告示
○官報発行所広告

勅令

○勅令第百十一號

裁判所構成法第百十一條ノ規定ニ依リ判事ノ定員ヲ定ムル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月二十三日

勅令

裁判所構成法第百十一條ノ規定ニ依リ判事ノ定員ヲ定ムル件

第一條　判事ノ定員ハ別表ノ通ヲ以テ定ムルモノトス

第二條　本令ハ明治四十年五月一日ヨリ施行ス

別表

裁判所	定員
大審院	四十一人
東京控訴院	二十一人
大阪控訴院	十一人
長崎控訴院	五人
東京地方裁判所	二十一人
大阪地方裁判所	十一人
長崎地方裁判所	五人
東京区裁判所	十一人
大阪区裁判所	六人
長崎区裁判所	三人

○勅令第百十二號

裁判所構成法第百十一條ノ規定ニ依リ判事ノ定員ヲ定ムル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月二十三日

勅令

裁判所構成法第百十一條ノ規定ニ依リ判事ノ定員ヲ定ムル件

第一條　判事ノ定員ハ別表ノ通ヲ以テ定ムルモノトス

第二條　本令ハ明治四十年五月一日ヨリ施行ス

別表

裁判所	定員
大審院	四十一人
東京控訴院	二十一人
大阪控訴院	十一人
長崎控訴院	五人
東京地方裁判所	二十一人
大阪地方裁判所	十一人
長崎地方裁判所	五人
東京区裁判所	十一人
大阪区裁判所	六人
長崎区裁判所	三人

閣令

○閣令第十一號

裁判所構成法第百十一條ノ規定ニ依リ判事ノ定員ヲ定ムル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月二十三日

内閣総理大臣兼内務大臣　侯爵　桂太郎

裁判所構成法第百十一條ノ規定ニ依リ判事ノ定員ヲ定ムル件

第一條　判事ノ定員ハ別表ノ通ヲ以テ定ムルモノトス

第二條　本令ハ明治四十年五月一日ヨリ施行ス

別表

裁判所	定員
大審院	四十一人
東京控訴院	二十一人
大阪控訴院	十一人
長崎控訴院	五人
東京地方裁判所	二十一人
大阪地方裁判所	十一人
長崎地方裁判所	五人
東京区裁判所	十一人
大阪区裁判所	六人
長崎区裁判所	三人

○閣令第十二號

裁判所構成法第百十一條ノ規定ニ依リ判事ノ定員ヲ定ムル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月二十三日

内閣総理大臣兼内務大臣　侯爵　桂太郎

裁判所構成法第百十一條ノ規定ニ依リ判事ノ定員ヲ定ムル件

第一條　判事ノ定員ハ別表ノ通ヲ以テ定ムルモノトス

第二條　本令ハ明治四十年五月一日ヨリ施行ス

別表

裁判所	定員
大審院	四十一人
東京控訴院	二十一人
大阪控訴院	十一人
長崎控訴院	五人
東京地方裁判所	二十一人
大阪地方裁判所	十一人
長崎地方裁判所	五人
東京区裁判所	十一人
大阪区裁判所	六人
長崎区裁判所	三人

告示

○告示第百十一號

裁判所構成法第百十一條ノ規定ニ依リ判事ノ定員ヲ定ムル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月二十三日

内閣総理大臣兼内務大臣　侯爵　桂太郎

裁判所構成法第百十一條ノ規定ニ依リ判事ノ定員ヲ定ムル件

第一條　判事ノ定員ハ別表ノ通ヲ以テ定ムルモノトス

第二條　本令ハ明治四十年五月一日ヨリ施行ス

別表

裁判所	定員
大審院	四十一人
東京控訴院	二十一人
大阪控訴院	十一人
長崎控訴院	五人
東京地方裁判所	二十一人
大阪地方裁判所	十一人
長崎地方裁判所	五人
東京区裁判所	十一人
大阪区裁判所	六人
長崎区裁判所	三人

官報発行所広告

官報発行所

第7141号　本文

石花礁ノ發見

英國水路部告示第一五五號（一九〇七年二月）ニ據レハ荷蘭政府ハ Gulf of Boni 內左記ノ位置ニ於テ石花礁ヲ發見セリト云フ

（一）概位南緯三度四五分〇秒東經一二一度二分四五秒ノ處ニ一干出礁アリ北北西、南々東ノ長一浬

（二）概位南緯三度四二分四〇秒東經一二〇度五九分四〇秒ノ處ニ一干出礁アリ北々西、南々東ノ長約半浬

（三）概位南緯三度四二分三〇秒東經一二〇度五七分四〇秒ノ處ニ一干出礁アリ北西、南東ノ長約一浬而シテ其南東緣ニ水面上高約四呎ノ一沙堆アリ

（四）海圖上概位南緯三度四〇7/10分東經一二〇度五五分ノ處ニ示セル水深六呎ヨリ淺キ礁ハ北西、南東ノ長約二浬ニシテ干出ス

（五）概位南緯三度三八分一五秒東經一二〇度五四分二五秒ノ處ニ一干出礁アリ南北ノ長約五鏈

（六）概位南緯三度三四分三〇秒東經一二〇度五四分ノ處ニ一干出礁アリ北々西、南々東ノ長約半浬又此位置ヨリ南一九度西距離半浬ノ處ニ同様ノ一礁アリ

（七）概位南緯三度二九3/4分東經一二〇度五三7/10分ノ處ニ長約半浬ノ一礁アリ濱ヨリ延出ス

第五六五五項

海軍海圖第三八二號支那海水路誌第七卷下四七八頁四八一頁ニ關係ス

偏差一九〇七年二度東

Eastern Archipelago　Gillolo passage

Ardassier island 等ノ不存在竝淺灘位置ノ改正

英國水路部告示第一八八號（一九〇七年二月）ニ據レハ荷蘭政府ハ Ardassier I. ノ不存在ヲ告示シ竝ニ Gillolo passage 中左記諸淺灘位置ノ改正ヲ爲セリ

（一）Ardassier I.　此島ハ一八〇八年汽船「アーダシアー」ノ報告セシモノナレトモ一九〇〇年汽船「シチー、オブ、ハンカウ」及一九〇一年汽船「エミリア」ハ該島ノアリト云ヘル位置ヲ通過セシニ更ニ島影ヲ認メサリシト云フ

依テ該島ハ海圖ヨリ削除ス

概位

北緯〇度四二分　東經一二九度一3/4分

（二）Ormsby bank　此堆ハ海圖ニ示ス位置ヨリ北七五度東距離約五浬卽チ概位北緯〇度四五分東經一二九度五九分半ノ處ニアリ

汽船「チューサン」ノ報告ニ係ルモノニシテ圖上 Saiang I. ヨリ北二三度東距離十七浬ノ處ニ P.D. ト記載セル礁ハ概位北緯〇度三六分半東經一二九度五七分ニ位ス但シ P.D. 符ハ存置ス

此位置變更ノ結果ニ依テ見レハ此 P.D. 礁ノ北方ニ存在シ水深甚タ淺キモノトシテ「チューサン」船長ノ報告セル礁ハ Ormsby bank ノ南部ニ相當スルモノヽ如シ

（三）Hunter bank　此堆ハ圖載位置ヨリ北八五度東距離約五浬卽チ概位北緯〇度二〇分東經一二九度五八分半ニアリ

第五六五六項

海軍海圖第六二九號第五八六號支那海水路誌第五卷下六六四頁ニ關係ス

偏差一九〇七年二度東

Sumatra 東岸

Linga island 東岸附近淺灘ノ發見

英國水路部告示第一七七號（一九〇七年二月）ニ據レハ荷蘭政府ハ Linga I. ノ北東側附近 Anak Ileu ヨリ南三七度西距離二浬 Ileu island ノ南端ト一線中ニ於テ最少水深二尋半ノ一淺灘（陡界）ヲ發見セリト云フ

概位

南緯〇度二分半　東經一〇四度四〇分

第五六五七項

海軍海圖第四六〇號英海軍海圖第九四五號支那海水路誌第六卷下二八二頁同第七卷上一三三頁一三五頁ニ關係ス

偏差一九〇七年一度東

菲律賓諸島　呂宋島西岸

Port Matalvi 立標位置ノ變更

英國水路部告示第一八四號（一九〇七年二月）ニ據レハ米合衆國政府ハ曩ニ亡失セル Port Matalvi 內ノ Yagat 立標ヲ從前設置アリシ位置ヨリ北五九度西距離二鏈半ノ處ニ再置セリト云フ

新立標ハ木造三脚架ニシテ白塗長方形目標ヲ戴キ Makalaba island ノ東角ヨリ北八五度東距離十一½鏈ノ處ニアリ

概位

北緯一五度三〇分　東經一一九度五五分

偏差一九〇七年無

右告示ス

明治四十年四月二十三日　水路部長　坂本一

注意

一　當部刊行ノ圖誌類ハ左記ノ各地ニ於テ之ヲ販賣ス

日本郵船株式會社東京本店〇大阪、神戸、長崎、函館、門司ノ五支店

一　此告示ノ印刷物ハ若干部ヲ前記ノ圖誌販賣所ニ備置キ無代價ニテ各航海者臨時ノ要望ニ應スヘシ

一　此告示ノ印刷物ハ左記ノ韓國沿海各理事廳及帝國領事館ニモ送付シアルヲ以テ各航海者ハ臨時該處ニ就テ覧閱スルヲ得ヘシ

（二〇）

鎭南浦　馬山　仁川　木浦　群山　釜山　元山　城津〇盃賀　新嘉坡　馬尼剌　香港　盤谷　廈門　上海　漢口　杭州　福州　芝罘　天津　牛莊　浦鹽斯德　晩香坡　シャトル　桑港　ホノルヽ　シッニー　タウンスゼル

一　海上ノ危險ヲ發見シ又ハ航海上現行圖誌ノ改補ニ必要ナル實驗ヲ爲シタルトキハ速ニ其當事者ヨリ直接本路部ニ報告アランコトヲ希望ス依テ便宜ノ爲メ水路報告用紙ト題セル印刷物若干部ヲ第一號ニ記セル各圖誌販賣所ニ備置キ無代價ニテ各航海者ノ要望ニ應ス但必スシモ此用紙ヲ用ユルニ及ハス

○退役　後備陸軍步兵大尉平井富藏ハ本月一日退役ト爲レリ（陸軍省）

○後備役編入　豫備陸軍步兵中尉後藤一雄、同秋吉實、同多田隆、同砲兵中尉神鳥德男、同步兵少尉吉田涉、同二等主計篠田撰、同後藤助太郎、同二等軍醫鹿島直、同重見正雄、同二等獸醫本田要、同佐藤傳五郎、同鈴木勝實、同井澤傳吉、同高橋直太、同三等獸醫工藤敎西ハ豫備役滿期ニ付キ本月一日孰モ後備役ト爲レリ（陸軍省）

○蹄鐵術卒業　騎兵第三聯隊及輜重兵第十二大隊ニ於テ本月十三日左記ノ者ニ各々蹄鐵術卒業證書ヲ付與セリ（陸軍省）

騎兵第三聯隊

三重縣平民	騎兵二等卒	中尾　孫市
鹿兒島縣士族	騎兵一等卒	海老原　爲勝
靜岡縣平民	騎兵二等卒	正木　源助
愛知縣平民	騎兵一等卒	石垣　哲之助
靜岡縣平民	騎兵一等卒	齋藤　治郎吉
愛知縣平民	騎兵二等卒	村松　定三
靜岡縣平民	騎兵二等卒	長田　喜藏
巖手縣平民	騎兵一等卒	松本　平次郎
靜岡縣平民	騎兵一等卒	山下　勝平
岐阜縣平民	騎兵二等卒	柳瀨　嘉十郎
愛知縣平民	騎兵二等卒	大川　久吉
愛知縣士族	騎兵一等卒	横井　猶藏
愛知縣平民	騎兵一等卒	田中　國次郎
三重縣平民	騎兵二等卒	川上　宗太郎
三重縣平民	騎兵一等卒	前田　菩之助
愛知縣平民	騎兵一等卒	板倉　朝松
靜岡縣平民	騎兵一等卒	鈴木　織太郎
靜岡縣平民	騎兵一等卒	久保田　常平
靜岡縣平民	騎兵二等卒	原　庄吉
愛知縣平民	騎兵二等卒	稻垣　勝次郎
愛知縣平民	騎兵二等卒	山田　俊市
愛知縣平民	騎兵一等卒	武藤　筭吉
靜岡縣平民	騎兵二等卒	若杉　茂三郎
愛知縣平民	騎兵一等卒	伊藤　清左衛門
愛知縣平民	騎兵二等卒	瀧川　惣太郎
岐阜縣平民	騎兵二等卒	池田　松三

輜重兵第十二大隊

福岡縣平民	輜重兵一等卒	堀　金作
佐賀縣平民	輜重兵一等卒	福島　清次郎
佐賀縣平民	輜重兵一等卒	太田　恒一
佐賀縣平民	輜重兵一等卒	羽立　鶴太郎
大分縣平民	輜重兵一等卒	秦　國吉
福岡縣士族	輜重兵二等卒	上原　季男
大分縣平民	輜重兵二等卒	後藤　政吉
福岡縣平民	輜重兵二等卒	篠原　清太郎
福岡縣平民	輜重兵一等卒	奥永　治助
福岡縣平民	輜重兵一等卒	平田　荒吉
福岡縣平民	輜重兵二等卒	小田　覺藏
大分縣平民	輜重兵二等卒	富部　常五郎
福岡縣平民	輜重兵二等卒	倉富　八三郎
福岡縣平民	輜重兵二等卒	伊藤　勇次郎

○軍艦發著　各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ（海軍省）

艦名	月日	著	發	行先
嚴島・松島・橋立	四、二〇		ブリスベーン	木曜島
追風	同	濱田		
赤城	同		秦皇島	芝罘
沖島	同	松田		
日進	同二一	横須賀		
春雨	同		大湊	函館
姉川	同		佐世保	吳
叢雲・不知火	四、二一	竹敷		
白雲・朝潮	同	穴水		
高千穗	同	大湊		
摩耶	同二二		宮津	美保關
比叡	同		富江	男女群島附近
葛城	同	城津		

○學事

○規則改正　東京帝國大學ニ於テ今般同大學農科大學附屬農業教員養成所規則中左ノ如ク改正セリ（文部省）

農業教員養成所規則

第一條　附屬農業教員養成所ハ農業學校及農業補習學校教員ヲ養成スルヲ以テ本旨トス

第二條　修業年限ハ二箇年トス

第五條　學年ハ每年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第六條　學年ヲ分テ三學期トス四月一日ヨリ七月三十一日迄ヲ第一學期トシ八月一日ヨリ十二月二十四日迄ヲ第二學期トシ一月八日ヨリ三月三十一日迄ヲ第三學期トス

第七條　學科課程

第一年		第二年	
倫理及教育	每週二時	倫理及教育	每週二時
農業汎論・農業經濟	每週二時	農業汎論・農業經濟	每週三時
養蠶及畜產	每週二時	養蠶及畜產	每週三時
耕種（作物、園藝、農具、森林）	每週四時	耕種（作物、園藝、農具、森林）	每週五時
作物病蟲害	每週二時	農藝化學	每週四時
農藝化學	每週五時	農業教授法	每週二時
農業教授法	每週二時	體操	每週一時
體操	每週一時	英語（隨意）	每週二時
英語（隨意）	每週二時	實驗	
實驗		農場實習	
農場實習		實地授業	
實地授業			

農業學校卒業生ヲ募集シタル場合ニハ二學年ヲ通シテ倫理及教育二時間農業教授法一時間體操一時間ヲ增シ第一學年ニ於テ耕種二時間農藝化學二時間第二學年ニ於テ農業汎論及農業經濟一時間耕種二時間及農藝化學一時間ヲ減ス

第八條　夏期休業ヲナサス七月十一日ヨリ九月十日マテハ專ラ農場實習ヲ課ス但臨時休業スルコトアルヘシ

第九條　本所ニ入學スルコトヲ得ヘキ者ハ師範學校若クハ甲種以上ノ農業學校ヲ卒業シ身體健全品行方正ニシテ在學中家事ニ係累ナク農業學校及農業補習學校教員タルノ志望確實ナルモノトス

前項師範學校及農業學校卒業生ハ農業ヲ修メタルモノニシテ卒業後一箇年間教職ニアリタルモノニ限ル

第十一條　削除

第十二、三、四、五條ハ現行ノ通リ但第十二條ヲ第十一條ニ改メ以下每條一條ツヽ繰上ク

第十五條　每學年第一學期及第二學期ノ終リニ於テ平常點數ヲ定メ二學期平常點ノ平均數ト試驗點數トノ和ヲ二分シタルモノヲ學年點數トス

第十七、八、九條ハ現行ノ通リ但第十七條ヲ第十六條ニ改メ以下每條一條ツヽ繰上ク

○實業教育費補助　實業教育費國庫補助法ニ依リ奈良縣立農林學校ニ去月マテ交付ノ補助金更ニ本月ヨリ向フ五箇年間一箇年金二千圓ヲ繼續交付スル旨昨二十二日文部省ヨリ指令セリ（文部省）

○入學許可　東京高等師範學校ニ於テ左記三十七人（イロハ順）ニ研究科入學ヲ許可セリ（文部省）

長野縣平民	原田　武雄	山口縣士族	大田　岩之助	兵庫縣平民	田寺　寛二
奈良縣平民	西田　與四郎	新潟縣平民	大竹　清五郎	滋賀縣士族	高岡　湍
新潟縣平民	大島　庄之助	兵庫縣平民	吉田　碩	群馬縣平民	竹林　貫一

（二一）

第7141号　本文

第7141号 本文

和歌山縣平民	永廣　榮松	東京府士族	小林　好日	兵庫縣平民	三木　順治
岡山縣平民	楢崎　浅太郎	愛媛縣平民	小玉　新太郎	福井縣士族	北島　美雄
千葉縣平民	中島　桂藏	德島縣平民	寺澤　嚴男	福井縣平民	木村　榮吉
岡山縣平民	浮田　辰平	奈良縣平民	赤澤　竹治郎	福島縣平民	物江　齊
長野縣平民	上原　絹一郎	德島縣士族	厚見　萬司	岡山縣平民	森　幸左衛門
青森縣平民	野坂　竹太郎	千葉縣平民	青木　安治	新潟縣平民	関　隆誠
新潟縣平民	山岸　貫治	德島縣士族	佐藤　充	靜岡縣平民	鈴木　濱吉
石川縣士族	前田　恒樹	山形縣士族	佐藤　修一	新潟縣平民	鈴木　饒一郎
福島縣士族	福原　惣三	秋田縣士族	佐々　應護四		
青森縣士族	今　竹男	熊本縣士族	齋藤　末熊		

○留學生歸朝　文部省外國留學生京都帝國大學法科大學助教授石坂音四郎ハ本月五日歸朝セリ(文部省)

○財政

○免租地現在調　大藏省ノ調査ニ係ル本年一月一日現在免租地調左ノ如シ(大藏省)

道府縣	段別	年額
北海道	八、五八四町・六	七、〇一三
東京	三、四四九・四	三三、〇九〇
京都	四、二七五・一	五一、五一五
大阪	六、一六一・二	八四、四一〇
神奈川	四八六・三	二七、五四四
兵庫	一七、三七三・四	一四一、三二九
長崎	二、三三七・九	四三、九八三
新潟	三、三八二・〇	一〇五、八九〇
埼玉	一、七六八・二	三八、六一二
群馬	六、七三七・六	四一、九八〇
千葉	一、五七一・五	四七、〇四〇
茨城	一、九三七・四	四五、〇一五
栃木	四、〇九三・七	三七、六八六
奈良	二、七一六・六	四六、〇七二
三重	四、一二三・三	七〇、九六三
愛知	四、二〇一・四	七一、一六四
靜岡	一、六六八・八	七四、二〇六
山梨	四、二八七・八	一四、四七七
滋賀	二七、六八二・一	五三、一五五
岐阜	二三〇、二二七・〇	七三、九七八
長野	二、五〇六・四	一〇二、一八四
宮城	四、二六四・八	四四、八七五
福島	五、三四七・〇	五五、九二三
岩手	四、八五四・五	五〇、六四二
青森	二、三二一・五	一六、八〇九
山形	二、二四八・四	一七、五一三
秋田	四、九六七・八	一九、八六〇
福井	四九、七五八・五	四一、八五四
石川	二三、三九五・二	四七、六四七
富山	一九、三六七・五	九四、五〇五
鳥取	六、〇六四・五	五八、二二四
島根	三、三〇二・四	二九、七九二
岡山	六一、二二二・九	一九〇、八七一
廣島	四、九四七・〇	二〇一、八五四
山口	一〇、一五五・三	六七、二一〇
和歌山	一、二五六・九	三六、九六八
德島	三、六〇〇・五	九〇、九四五
香川	三、〇〇九・九	四四、〇二八
愛媛	二、五五〇・六	六五、〇九五
高知	一、五〇三・二	六三、八四五
福岡	七、〇三八・二	一一七、七九四
大分	二、四七一・二	六九、九五八
佐賀	二、〇五七・三	四六、五六五
熊本	二、六〇六・六	六六、三二五
宮崎	一、六九八・五	二〇、九六五
鹿兒島	九一五・六	一七、九二五
沖繩	一、七〇五・六	三八、一六四
總計	五七〇、一〇六・六	二、九二七、四五九

○縣税及罹災救助基金收支豫算額　山口縣ニ於ケル明治四十年度縣税及罹災救助基金收支豫算額左ノ如シ(△印ハ減)(山口縣)

「經常部」縣税歲入

科目	決議額	原案額	比較增減
地租割	三四三、二四四圓	三四三、二四四圓	—圓
營業税	一〇二、六〇一	一〇二、六〇一	—
雜種税	二二二、八四六	二三三、三九七	△一〇、五五一
營業税附加税	三三、五七八	三二、四三一	一、一四七
鑛業税附加税	六九二	六九二	—
戶數割	二二九、〇三六	二二九、〇三六	—
財産收入	六〇七	六〇七	—
國庫下渡金	三七、一二二	三七、一八四	△六二
雜收入	一四三、九一七	一四三、九三〇	△一三
合計	一、〇三二、六四四	一、〇四二、〇一三	△九、三六九
臨時部			
繰越金	二三、六四五	二三、六四五	—
國庫補助金	四三、四四八	四三、四四八	—
寄附金	一、七二三	一、七二三	—
財産賣拂代	八〇	八〇	—
合計	六六、九〇六	六六、九〇六	—
總計	一、〇九八、五四九	一、一〇七、九一八	△九、三六九

同歲出

科目	決議額	原案額	比較增減
經常部			
警察費	二二四、三二六	二二四、六九九	△三七三
警察廳舍修繕費	二、九五四	二、九五四	—
土木費	七七、一五三	七七、一五三	—
縣會議諸費	七、四七〇	七、四七〇	—
衞生及病院費	七〇、〇六四	七〇、〇六四	—
教育費	二一四、四〇七	二一四、四〇七	—
郡廳舍修繕費	一、九五四	一、九五四	—
郡役所費	七八、〇五四	七八、〇五四	—
救育費	一、四〇〇	一、四〇〇	—
諸達書及揭示諸費	三、〇一六	三、〇一六	—
勸業費	九四、七九〇	九五、三六四	△五七四
縣税取扱費	二九、三五五	二九、七三一	△三七六
縣廳舍修繕費	八五四	八五四	—
衆議院議員選擧費	一、三二二	一、三二二	—
縣會議員選擧費	一、一七〇	一、一七〇	—
縣吏員	二七、八七五	二七、八七五	—
財産費	四二	四二	—
行政執行法處分費	一〇〇	一〇〇	—
縣社費	二一〇	二一〇	—
豫備費	一〇、九六五	一一、〇〇〇	△三五
合計	八二六、四二一	八三七、七五九	△一、三三八
臨時部			
警察廳舍建築費	七、三九八	七、三九八	—
土木費	三三、七七三	三三、七七三	—
縣會議諸費	二九	二九	—
衞生及病院費	八五三	八五三	—
市町村傳染病補助費	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	—
教育費	八、一九四	八、一九四	—
教育補助費	五、七四二	五、七四二	—
郡廳舍建築費	七三五	七三五	—
諸達書及揭示諸費	一四	一四	—
勸業費	三、四七七	三、四七七	—
勸業補助費	八、六〇〇	一〇、六〇〇	△二、〇〇〇
航海業補助費	一、一〇〇	一、一〇〇	—
小學校教員恩給金繰入	三、四四七	三、四四七	—
郡市町村土木補助費	四〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
郡市町村土木補助費本年度支出額	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	—
土木費本年度支出額	六四、七九八	六四、七九八	—
教育費本年度支出額	一八、三九二	三四、四二三	△一六、〇三一
勸業費本年度支出額	四〇、四七八	四〇、四七八	—
合計	二六二、一二八	二七〇、一五九	△八、〇三一
總計	一、〇九八、五四九	一、一〇七、九一八	△九、三六九

(備考)前揭ノ決議額ハ主務省ノ指揮ヲ請ケ左ノ通變更ス(其他ノ科目ニ異動ナシ)

科目	原案額	執行額
繰越金	—	四八、六七六圓
臨時部合計	—	九一、九三七
歲入總計	—	一、一二三、五八〇
教育費本年度支出額	—	三四、四二三
臨時部合計	—	二七八、一五九
歲出總計	—	一、一二三、五八〇

罹災救助基金收支

收入	四一、八二四圓	四一、八二四圓	—
支出	三三、七七五	三三、七七五	—

○產業

○純金相場　本月十五日ヨリ同二十日ニ至ル各日純金相場百匁ニ付キ五百圓ナリ(日本銀行ノ報告ニ據ル)

○磅相場　本月十五日ヨリ同二十日ニ至ル各日磅相場一磅ニ付キ九圓八十二錢九毛ナリ(橫濱正金銀行ノ報告ニ據ル)

○鑛業事項　鑛業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ(農商務省)

試掘許可

登錄番號	鑛區所在地	鑛種	面積	鑛業權者住所氏名	許可及登錄日	事由
佐賀試登錄第三十一號	西松浦郡大山村地內	石炭	七〇九、三九〇坪	東京市芝區愛宕町二丁目 日方猶三郎	三、四	試掘願許可
佐賀試登錄第三十二號	東松浦郡北波多村、相知村及西松浦郡大川村地內	同	六七〇、二七四	同京橋區明石町 芳谷炭坑株式會社	三、四	同
佐賀試登錄第三十三號	同郡大山村地內	同	五八九、二四八	福岡縣嘉穗郡穎田村 小林寅吉外一人	三、四	同
佐賀試登錄第三十四號	小城郡西多久村、多久村地內	同	一、〇〇〇、〇〇〇	同 白土善太郎	三、五	同
山口試登錄第百十號	吉敷郡大道村地內	銅	一一〇、九四三	山口縣吉敷郡大內村 荒川信介外二人	三、七	同
福岡試登錄第九十八號	田川郡彦山村地內	鐵	一一五、五七五	福岡縣田川郡彦山村 黑崎延次郎外三人	三、八	同
山口試登錄第百十一號	阿武郡福川村地內	銅	一三九、一三〇	山口縣阿武郡生雲村 小田長作外四人	三、一一	同
福岡試登錄第二十八號	粕屋郡山田村地內	同	九四五、六〇七	大阪市西區西野下ノ町 大阪硫曹株式會社	三、一五	試掘鑛區增減區願許可
福岡試登錄第九十九號	同郡同村、久原村地內	同	九二〇、五一五	同 上	三、一八	試掘願許可
福岡試登錄第百號	筑紫郡太宰府町地內	石炭	五八、六五〇	福岡縣筑紫郡三宅村 小樋井晉三郎	三、一八	同
大分試登錄第百二十三號	日田郡中津江村地內	金、銀	六三、〇八九	同縣八女郡矢部村 坂本一郎	三、一八	同
鹿兒島試登錄第百四號	肝屬郡牛根村地內	同	一一、七七〇	鹿兒島市加治屋町 川野喜次郎	三、一八	同
福岡試登錄第十三號	企救郡足立村、城野村及西紫村地內	石炭	三三七、一五二	福岡縣田川郡添田村 內保房	三、一九	試掘鑛區增區願許可
山口試登錄第百十二號	豐浦郡豐東村地內	鐵	一二一、二〇〇	山口縣豐浦郡長府村 永恆太郎	三、二三	試掘願許可
佐賀試登錄第三十五號	東松浦郡值賀村地內	石炭	二二九、七七五	三重縣飯南郡松阪町 西井久兵衞	三、二三	同
膽振試登錄第百九號	室蘭郡室蘭町地內	鐵	三五〇、三〇〇	北海道膽振國室蘭郡室蘭町大字常盤町 谷朝雄	三、五	同
渡島試登錄第五十七號	茅部郡尾札部村地內	硫黃	五〇、七三一	北海道函館區春日町 峰谷藤吉	三、七	同
後志試登錄第六十八號	奧尻郡釣掛村及赤石村地內	重石	七八八、三一〇	同區眞砂町 平[illegible]治外一人	三、一八	同
釧路試登錄第四十一號	釧路郡釧路村及桂戀村地內	石炭	二四六、二四〇	東京市本所區本所横網町二丁目 安田善之助	三、一九	同

「同不許可」

出願地	鑛種	面積	出願人住所氏名	處分ノ月日	事由
新潟縣西頸城郡小瀧村地內	石炭	五七二、三〇〇坪	新潟縣西頸城郡下早川村 関澤甚	三、二〇	東試第一三六五五號石炭鑛試掘鑛區ニ重複シ殘地ハ制規ノ坪數未滿ニ付キ試掘願不許可
福島縣石川郡澤田村小平村地內	銅	八七〇、四七三坪九合	東京市芝區高輪南町 堀部次郎方 三淵龍七郎外一人	三、一三	優先權者ニ許可シタル福島縣試登錄第百二十八號銅鑛試掘鑛區ト全部重複ニ付キ試掘願不許可
同	同	六七九、一一七	同 上	三、一五	優先權者ニ許可シタル福島縣試登錄第百二十九號銅鑛試掘鑛區ト全部重複ニ付キ試掘願不許可
石川縣羽咋郡加茂村地內	燐	五九九、六五七	兵庫縣加古郡別府村 多木久米次郎	三、一四	大試六七一八號燐鑛試掘鑛區ニ重複スルニ付キ試掘願不許可
愛媛縣西宇和郡宮內村地內	銅	四六八、五〇〇	神戶市葺合熊內町 横山材次郎	三、一四	先願者ニ許可セシニ付キ試掘願不許可
岡山縣御津郡宇垣村地內	同	一二七、九八〇	岡山縣久米郡龍山村 光元東伯	三、一五	大試第六七一二號銅鑛試掘鑛區ニ重複スルニ付キ試掘願不許可

○雜事

○水難救濟會月報　帝國水難救濟會各救難所ニ於テ本年一月中救助シタル遭難船數及遭難人員統計左ノ如シ(遞信省)

救難所名	被救船數	被救人數
山口縣下關救難所	七	五八
同縣中關救難所	一	三
同縣丸屋崎救難所	四	八
宮城縣渡波救難所	二	六
同縣石卷救難所	二	六
東京市東京救難所	三	一〇
香川縣多度津救難所	二	八
福岡縣若松救難所	—	三
靜岡縣掛塚救難所	—	五
愛媛縣堀江救難所	—	二
山形縣酒田救難所	—	四
神奈川縣三崎救難所	一	八
青森縣袰月救難組	一	二
合計	二三	一二三

○移民業務代理人解任　三丸商會ヨリフィリピン群島ニ於ケル業務代理人井上直太郎ヲ解任セシ旨本月九日附ヲ以テ屆出テタリ(外務省)

正誤

本月十九日本欄鑛業事項ノ項中三重試登錄第三十七號鑛區所在地古奧村ノ次ニ「古濱村」ノ三字ヲ脫ス(報告誤)　農商務書記官

○地方行政

○縣會議員當選　奈良縣ニ於テ本月五日縣會議員ノ補缺選擧ヲ行ヒシニ奥村楢太郎、伊藤新五郎當選セリ(奈良縣)

○在外公館報告

○上海綿花及綿絲市況　上海ニ於ケル綿花及綿絲市況ニ付キ同地駐在總領事永瀧久吉ヨリ本月二十日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ(本月十六日本欄內參看)(外務省)

綿花ハ取引少ク市價格別變ナシ

綿絲ハ四川方面ノ注文入込市況稍々引立チ相場五匁方引締ル在荷ハ印度絲一六五、六五七、日本絲一一、五二〇

○孟買綿花市況　孟買ニ於ケル綿花市況ニ付キ同地駐在領事藤田敏郎ヨリ本月二十日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ(本月十六日本欄內參看)(外務省)

輸出向上物相場騰ラス取引多ク品薄ニテ相場引締リ下等物ハ同事、在荷七十五万四月渡「ファイン」、「ブローチ」二六三「グード」、「ダアルウワー」二四四、明三月渡シ「グード」、「ブローチ」二四六

○ホノルヽ附近「ペスト」發生　ホノルヽ附近ニ於ケル「ペスト」發生ノ件ニ付キ在同地帝國總領事館ヨリ一昨二十一日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ(外務省)

ホノルヽヲ距ル八哩ノ耕地ニ「ペスト」發生シ本日マテ患者十人ヲ出シ內九人死去ス尚「ペスト」ニ類

似ノモノアリ日本人會協同衛生ニ盡力ス米國檢疫醫ハ其本國行ノ旅客ニ對シ檢疫ス然レトモ未タ當地ヲ共流行地トハ公告セス

○傳染病週報　清國在留本邦人傳染病病況ニ付キ帝國領事館ヨリノ週報左ノ如シ本月二十日（外務省）本欄內參看

地名　營口　期間（自四月一日至同七日）患者及死者共皆無ナリ

○觀象

○全國氣象　四月十九日

區	觀測所	氣壓 午前六時	氣壓 八時間差	溫度 午前六時	溫度 最高	溫度 最低	風 風向	風 風力	雨量 廿四時間	天氣
一	恒春	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	臺東	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	澎湖島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	臺中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	臺北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	石垣島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	那覇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	名瀬	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	佐多岬	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
附錄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

○天氣概況　高氣壓本邦東部ヲ占メ京阪地方ヨリ北海道ニ至ル間ハ天氣晴朗ニシテ氣溫降リ所々結霜ヲ見ル然レトモ昨日楊子江流域ヨリ來リタル小低氣壓ハ目下濟州島ノ南部ニ存在スルモノヽ如ク又臺灣南部ノ海上ヨリ來リタル低氣壓ハ八重山列島ノ北方海上ニ在リテ北東ニ進行シツヽアリ之ヲ以テ本邦西部ハ既ニ其影響ヲ被ムリ密雲天ヲ被フテ北東風強キ所多ク琉球諸島ニテハ風雨ノ所アリ石垣島ニテハ雷雨アリ清國營口ノ北部ニハ一低氣壓アリ遼東一帶ハ曇天ト爲レリ

四月二十三日天氣豫報

○全國天氣豫報

第一區　北又ハ東ノ風、概ネ曇但シ雨模樣アリ

第二區　北又ハ西ノ風、概ネ雨後晴

第三區　第二區ニ同シ

第四區　第二區ニ同シ

第五區　北又ハ西ノ風、概ネ雨後曇

第六區　第五區ニ同シ

第七區　第五區ニ同シ

第八區　第五區ニ同シ

第九區　南又ハ西ノ風、概ネ晴但シ雨模樣ノ所アリ

第十區　第九區ニ同シ

○東京地方天氣豫報

四月二十二日午前九時發　北又ハ西ノ風、雨後霽レル

四月二十二日午後四時發　北又ハ東ノ風、曇雨模樣アリ

○暴風警報　海上風雨ノ虞アリ四月二十二日午前八時十分一乃至四區ノ沿海ヲ警戒ス

○地震　高山外十八箇所ノ地震報告左ノ如シ

地名	日	時刻	強度	性質
高山	四月二十日	午後一時四十七分二十一秒	微	性質緩
松本	同	午後一時四十八分零秒	微（感覺ナシ）	
彦根	同	午後一時四十八分五十秒	同	性質緩
福井	同	午後二時三十二分五秒	同	
福井	同	午後五時五十七分十六秒	同	
新潟	同	午前三時二十一分四十秒	微	性質緩
筑波山	二十一日	午前四時三十分三十三秒	同	戸障子鳴ル
福島	同	午前四時三十一分八秒	同	性質緩
宇都宮	同	午前四時三十一分三十二秒	同	家屋動揺ス
水戸	同	午前四時三十一分三十二秒	同	性質緩
金山	同	午前四時三十三分二十秒	微（感覺ナシ）	
新潟	同	午前四時三十一分三秒	同	
東京	同	午前四時三十二分十一秒	同	
石巻	同	午前四時三十二分十三秒	同	性質急
甲府	同	午前四時三十二分二十秒	同	性質緩
沼津	同	午前四時三十三分二十七秒	同	
長野	同	午前四時三十三分十六秒	同	性質緩
横濱	同	午前四時三十三分三十秒	微	
熊谷	同	午前八時七分五十三秒	同	性質緩
新潟	同	午後一時四十七分二十九秒	同	性質緩
新潟	同	午後二時六分三十四秒	微	性質緩
新潟	同	午後五時五十五分三十二秒	同	
彦根	同	午後五時五十六分零秒	微（感覺ナシ）	
福井	同	[illegible]	同	
水戸	二十二日	午前七時二分十秒	微	性質急
筑波山	同	午前七時五分五秒	同	地鳴アリ
福島	同	午前七時四分四十二秒	微（感覺ナシ）	
沼津	同	午前七時四分五十一秒	同	
東京	同	午前七時五分四秒	同	
甲府	同	午前七時五分二十二秒	微（感覺ナシ）	性質緩

地名	日	時刻	強度
熊本	同	午前九時五十四分十五秒	微
名瀬	同	午前十時二十七分五十四秒	微（感覺ナシ）
新潟	同	午前十一時五十九分五十二秒	同
臨井	同	午後二時二十四分三十秒	同

（以上中央氣象臺）

○廣告

○醫籍登錄抹消

醫師法第四條ニ依リ醫籍登錄ノ抹消ヲ爲シタル者左ノ如シ

明治四十年四月　內務省

抹消年月日	事由	族籍	氏名
四〇、四、一九	廢業	新潟縣平民	渡邊 隆一
同	同	富山縣平民	高道 太吉郎
同	同	新潟縣平民	不二崎 樹安

○工場財團

小樽區入舟町畑四番地小樽電燈合資會社ヨリ工場財團所有權保存ノ登記申請アリタルニ付キ左記ノ動產ニ對シ權利ヲ有スル者又ハ差押假差押若クハ假處分ノ債權者ハ明治四十年六月二十日マテニ當所ニ其權利ヲ申出ツヘシ

明治四十年四月　小樽區裁判所

煙突「シーメンス」鋼製一箇百二十尺頂上徑五尺煉瓦築基礎共貯水池板圍百三十坪汽罐基礎煉瓦築七坪六合三勺汽機基礎煉瓦築五坪五合汽鑵二百三十五馬力「デユール」水管式一九四一號、一九四二號「ローレンケッセル」製造所製造西暦千九百四年製造二箇「メートル」其他附屬器具並豫備品共一切汽機「スウ井デルスキー」直立二聯成二四〇號「シーメンシユツケルト」製造所西暦千九百四年製造一基直立二聯成凝縮機及豫備品並附屬「パイピング」共一切配電盤方形大理石「シーメンシユツケルト」製造所製造一面電流計、電壓計、電力計、開閉器、漏電計、調製器、避雷器共他取付器具一切給水喞筒「シーメンハルスケ」社「エンヂンタイプ」九六七六五號六五七六號西暦千九百四年「シーメンシユツケルト」製造所製造二箇附屬「パイピング」共一切油喞筒「エンヂンタイプ」一箇附屬「パイピング」共一切「セパレーター」普通一箇附屬「パイピング」共一切油濾鐵薄板製三號西暦千九百四年「シーメンシユツケルト」製造所製造一箇油槽鐵薄板製一號二號明治三十八年北海道小樽製二箇變壓器GE形自一號至四十八號西暦千九百三年米國「ゼネラル」會社製造四十八箇二百燈用三箇百燈用十九箇六十燈用十二箇三十燈用十四箇發電機「シーメンハルスケ」社「エンヂンタイプ」二四〇號西暦千九百四年「シーメンシユツケルト」製造所製造一箇勵磁機一基及豫備品共一切電線高壓線亙長三万四千八百二十二尺延長九万三千四百〇四尺低壓線亙長六万四千二百九十尺延長十二万八千五百八十尺引込電線引込線九千六百封附屬器具「ブラケット」碍子外用安全器共一式電柱四百三本附屬器具避雷地線、腕木、支柱、支線、碍子、足場釘「ガード」線非常用開閉器「ロルユカツトアウト」一式

○學生生徒募集

本年本校豫科生大約二百五十人ヲ募集ス右入學志願者ハ願書ニ履歷書（中學校及甲種商業學校卒業者ハ該校長ノ證明書專門學校入學者檢定規程ニ依リ檢定ニ合格シタル者ハ該證書ヲ添ヘ）受驗料（金三圓）及寫眞（表面ニ氏名並ニ撮影ノ年月ヲ記入シ但シ脫帽ニシテ手札形ニ限ル）ヲ添ヘテ來ル五月十日ヨリ同十五日マテニ本校ニ提出スヘシ

入學試驗ハ本年六月二十八日ヨリ施行ス

入學試驗ハ中學校卒業ノ程度ニ依ル其科目ハ本年六月十日本校ニ掲示ス

本年本校豫科生募集人員ノ內海軍主計學生二十八人ヲ募集ス右志願者ハ入學願書氏名ノ上ニ「海軍主計學生志願」ノ文字ヲ朱書シ來ル五月十日ヨリ同十五日マテニ普通入學願ノ手續ニ依リ申出ツヘシ但シ豫メ體格檢查ヲ執行（於テ東京ニ）ス

合格者ノ學科試驗及其期日ハ一般ノ入學志願者ニ同シ

明治四十年四月　東京高等商業學校

本校醫學科第一學年ヘ生徒ヲ募集ス志願者ハ左ノ事項ヲ心得ヘシ

明治四十年四月　岡山醫學專門學校

志願者心得事項

一本校入學者ハ中學校卒業者若クハ專門學校入學者檢定規程ニ依ル檢定ニ合格シタル者

一選拔試驗學科目左ノ如シ

國語及漢文　外國語（英語又ハ獨語ノ內）　數學　物理及化學（無機）

一入學志願者ハ願書ニ履歷書及中學校卒業者ハ當該中學校長ノ卒業證明書專門學校入學者檢定規程ニ依ルモノハ其合格證書並ニ最近手札形半身寫眞一葉及受驗料金三圓ヲ添ヘ本年六月十日マテニ當校ニ到達スヘキ日取ヲ以テ差出スヘシ

一試驗料ハ自己ノ都合ニヨリ受驗セサルモ返付セス

一試驗期日ハ本年七月二日ヨリ施行ス

一志願者ハ本年七月一日午前九時ヨリ午後二時マテノ間ニ出校シ受驗證票ヲ受取ルヘシ

（三五）

○音樂演奏會

本月二十八日（日曜日午後二時半）音樂演奏會ヲ開ク

明治四十年四月　東京音樂學校

曲目

一　管絃合奏　基督降誕祭神劇　バハ作曲

二　合唱　甲、偶成　アルカデルト作曲　武島又次郎作歌　乙、みそぎ　マックス、ブルッフ作曲　石倉小三郎作歌

三　管絃合奏　合奏曲　シューベルト作曲

四　「ピアノ」管絃合奏　研究生　久野ひさ

五　合唱　司伴樂　ベートーフェン作曲　甲、籬之川上　チャイコウスキー作曲　鳥居忱作歌　乙、雁叫　露西亞民歌　旗野十一郎作歌

六　管絃合奏　小夜樂　モツアルト作曲

七　管絃合奏　「スラヴ」舞踏曲　ツボールシャク作曲

入場券ハ東京市京橋區竹川町十三番地共益商社樂器店ニ於テ發賣セシム

○森林主事特別任用試驗

明治三十六年十二月農商務省令第十三號森林主事特別任用規則ニ依リ左記日割ヲ以テ任用試驗ヲ執行ス志願者ハ左記各項了知ノ上當署ニ受驗願書差出スヘシ但シ期日以後到達シタル願書ハ之ヲ受理セス尙ホ詳細ハ當署又ハ管內小林區署ニ就キ承合スヘシ（但シ書面ノ照會ニ應セス）

明治四十年四月　熊本大林區署

一試驗場　佐賀小林區署及大分小林區署

一願書到達期日　來ル五月十日

一試驗ハ左ノ科目ニ就キ之ヲ行フ

五月二十日　身體檢查

同二十一日　現行法令（刑法、刑事訴訟法ノ大意、森林法、國有林野法）

同二十二日　作文（片假名交リ文往復文）　算（四則、分數、比例、利息算、求積）　筆（楷書行書）

同二十三日　特別志望科目

同二十四日　口述試驗

一願書及履歷書ハ左ノ書式ニ依リ證明書ハ左ノ例ニ倣フヘシ

一願書履歷書ノ用紙ハ美濃紙ヲ用ヒ字體ハ楷行ノ內ニテ明瞭ニ記載スヘシ

一現ニ官廳ニ奉職スル者ハ本屬長官ノ認可書ヲ添付スヘシ

第7141号　本文

受驗願（受驗地ハ願書ノ餘白ニ記載スルヲ要ス）

族籍　職業　氏　名　生年月日

私儀森林主事奉職志願ニ付御試驗被下度別紙履歷書及兵役ニ關スル證明書相添此段奉願候也

年　月　日　現住所　氏　名㊞

熊本大林區署長山林技師田中喜代次殿

（別紙）

履歷書

族籍　住所　氏　名　生年月日

學事

一何年何月ヨリ何地何某ニ就キ又ハ官公私立何學校ニ於テ何學ヲ修メ何年何月退學

一何年何月ヨリ何地官公私立學校ニ入リ何學科ヲ修メ何年何月卒業ス云々

職業

一何年何月何日官公私立何學校何科教員トナリ

一何年何月何日辭職云々

一何年何月何日何官廳ニ於テ何々拜命何年何月何日マテ何々ノ事務ニ從事シ何年何月何日辭職云々

一何年何月ヨリ何地何會社ニ傭ハレ（給料何圓）何々ノ業務ニ從事シ何年何月解傭

賞罰

一何年何月何地ニ於テ何々ノ事由ニ依リ賞又ハ懲戒ヲ受ク

破産家資分散又ハ身代限處分ノ有無

一何年何月何地ニ於テ身代限ノ處分ヲ受ケ何年何月債務ノ辨濟ヲ爲シタルコト又ハ破産若ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ何年何月復權シタルコト

一破産若ハ家資分散ノ宣告又ハ身代限ノ處分ヲ受ケタルコトナシ

（身分ニ關シ辭令證等アル者ハ其ノ寫ヲ添付スヘシ）

右ノ通相違無之候也

年　月　日　右　氏　名㊞

證明書（例）

族籍身分　職業　氏　名　生年月日

一兵役何々（又ハ關係ナシ）

一破産若ハ家資分散ノ宣告又ハ身代限ノ處分ヲ受ケタルコトナシ（又ハ何年何月何々ノ宣告又ハ處分ヲ受ケタルモ何年何月復權又ハ債務ノ辨濟ヲ終レリ）

右證明ス

年　月　日　何市町村長　氏　名㊞

○郵便局燒失

本月三日美濃國白鳥郵便局類燒郵便物異狀ナシ

明治四十年四月　遞信省

○船舶職員試驗

來ル五月三日境海務署ニ於テ乙種一等運轉士、乙種二等運轉士、丙種運轉士ニ限リ臨時船舶職員試驗ヲ執行ス

明治四十年四月　遞信省

○貯金通帳亡失及盜難

左記貯金通帳亡失及盜難ニ罹リタルニ付キ若シ其所在ヲ發見シタル者ハ速ニ最寄郵便貯金取扱局所ニ屆出ツヘシ

明治四十年四月　郵便爲替貯金管理所

記番號	番號	交付局所名	預ケ人氏名
まく	一五八四	薩摩 大口局	池畑 アイ
くはち	六三七	安藝 瀬戸田局	脇本 キサ
てすい	二一七〇	筑後 千足所	吉浦 林太郎
まけ	四三三	大隅 鹿屋局	吉原 彌兵衞
ふはほ	二九	出雲 入江局	石川 義太郎
くい	一〇七八九	安藝 廣島局	船山 源四郎
てち	一三〇四	豐前 香春局	山田 キク
てに	二〇九	同 椎田局	湯本 龜太郎
てみ	三二三〇	同 豐津局	柴崎 正好
てろつ	二三六四六	同 門司局	元家 ヒサコ
同	二三一〇五	同 局	横濱 ミチ
てはみ	四九二	同 金田局	中村 光太郎
てた	一七九五	筑前 甘木局	平位 テル
てい	二二五五	同 若松局	速水 善澄
ている	一一八	同 二日市局	高野 菊三郎
ていな	四四一五	同 東郷局	八波 モモ
てはち	一〇七六	同 植木局	山本 勝
てつ	八八五	筑後 若津局	西水 小枝
てゆ	一八四二	同 大牟田局	猿渡 唯治
同	二七〇三	同 局	松木 タイ
同	三〇四九	同 局	井上 久吉
同	三二八八	同 局	安富 歸一
同	三六四一	同 局	松尾 佐一郎
同	三八五五	同 局	木下 松尾
同	八六七三	同 局	廣木 トシ
ていに	三一五〇	同 瀬高局	古賀 由吉
ていさ	三二六二	同 黒木局	宮川 清九郎
てはろ	三四	同 久留米瀬下局	圓 智榮
第二回發行 てにさ	七九〇	下關郵便爲替貯金管理支所	吉井 兵一
同 てにゆ	三二七	同 所	久保田 友三
てすい	二一五八	筑後 千足所	金子 利三郎
くぬ	四九八五	備後 三原局	水原 ツル
くを	四九五	同 甲山局	佐々木 キヨウ
くた	二二二一	同 府中局	村上 又吉
くろか	二五〇	同 福永局	高橋 宇一郎
くにら	七四五	同 福山胡町局	藤井 計男
くい	一〇四七一	安藝 廣島局	島 兼市
同	一一五〇九	同 局	佐野 宮吉
くす	七八三	同 廣局	永井 錄四郎
くき	一五九八	同 吳局	藏田 小次郎
くろき	二五二	同 須波局	宮木 兼松
まよや	四五二	日向 今町局	河野 淺吉
まめ	二四二七	薩摩 米ノ津局	長岡 英子
そち	六三〇一	肥前 大村局	田中 タカ
同	六三〇二	同 局	同 ハツ
同	六三〇三	同 局	同 ミ子
そほゆ	三九四	同 館浦局	近藤 マサ
そほも	一五二〇	同 佐世保名切局	加藤 嘉三郎
そいふ	五三三	對馬 琴局	脇木 ヨシ
のゐ	二〇七〇	周防 宮市局	深野 甚右衛門
のは	六六一五	長門 下關東局	正木 米次郎
のはて	一九七八	同 下關今浦局	中川 音一
ふわ	二二六二	出雲 杵築局	永見 宗吉
同	五六〇八	同 局	北島 徹照
ふの	五八二八	同 松江京店局	岡田 寛市
ふいふ	七三一	同 鵜鷺局	內田 源太郎
ふぬ	一五五八	石見 津和野局	西村 嘉一郎
ふる	三三五	隱岐 西郷局	吉田 安一
同	一七一九	同 局	大久保 惣太郎
同	一八五二	同 局	黒川 直枝
同	二〇七九	同 局	牧原 八十吉
同	二二三五	同 局	向井 半三郎
同	二九四三	同 局	藤田 松之助
同	三一〇六	同 局	坂本 岩太郎
軍ふ	八八九〇	滿洲 大連野戰局	伊東 友市
同	九〇六二	同 局	勝澤 芳信
軍いけ	一四二	同 遼東兵站第十九野戰局	國富 鈞
滿ろ	三八五	同 安東縣支局	猪股 仙吉
ひに	五五九九	肥後 山鹿局	田上 伊太郎
ひい紅	一〇五二	同 山崎局	叶 ハツ子
ひいけ	一五七二	同 三角局	岩木 筆次
なり	一二八四	豐後 別府局	加藤 椿一
淸よ	一一二九	淸國 牛莊局	永田 リウ
てろつ	八六四	豐前 門司局	三戸 藤吉
同	七五八	同 局	島田 直市
ふわ	二七〇五	出雲 杵築局	片岡 重吉
ゐにと	四五一	攝津 大阪御藏跡局	森口 ツル
ほいを	四四四八	同 大阪靱局	增井 鉄太郎
ほい乙	三一六九	同 大阪局	森本 しま
ちろよ	一五五六	丹後 中濱局	岡崎 常治郎
ちいゐ	二二六〇	丹波 馬路局	平井 宗吉
ちはひ	四一八	丹後 江尻局	村上 傳次
同	三九六	同 局	同 民藏
ぬいろ	三四三九	攝津 三田局	久米 豐
ぬほと	二二七九	同 神戸長狹七	上木 喜一
ぬい	三〇四九	同 神戸局	香川 四郎都
ぬにそ	一二七四	播磨 安積局	羽尻 登美
ぬいゐ	一六八八	丹波 古市局	荒木 ぬい
よいと	五一一二	近江 寺庄局	辻 卯一
かか	一五七五	越中 高岡局	御月 藤太
ふにほ	三	因幡 鳥取瓦町局	久米治文右衛門
さろろ	九四八	紀伊 池田局	神崎 德助
さい紅	九八二	同 江住局	阪口 六右衛門
恩か	一〇五三九	郵便爲替貯金管理所	紙谷 仁太郎
かはす	一六四	加賀 小松本折町局	橘動 良致
にせ	三二九七	讚岐 國分局	池淵 鶴夫
にみ	三〇三三	同 瀧宮局	川田 善吉
ほじい	八二〇	大和 大瀧局	福田 タニ
せい紅	一七〇九	越前 福井佐佳枝町局	小島 島作
いは紅	三七九七	武藏 淺草元鳥越局	小林 係藏
いにこ	八七	同 牛込改代町局	青木 榮一
いろみ	八四二	同 下谷池ノ端局	中島 柳
いに守	二〇二八	同 京橋月島局	西本 正雄
いろゐ	三〇二一	同 芝愛宕町局	寺坂 勇
きと	三四一〇	上野 澁川局	峯岸 きよ
きる	六八〇六	同 藤岡局	泉 虎雄
ゆ紅	二七二七	甲斐 石和局	小幡 岩吉
恩さ	七九六八	郵便爲替貯金管理所	須田 常吉
れは紅	一四四	常陸 古渡局	諸岡 留三郎
れろす	三六七	同 長倉局	石川 貞吉
れい	一九四八	同 水戸局	二川 ろく
らいや	九七	渡島 野塚局	若林 タマ
ちろに	一六八八	石狩 登川局	川島 貫
しろほ	六六二	陸前 荻ノ濱局	小倉 つるよ
同	七三五	同 局	同 鶴衞
ひよ	一四七三	羽後 院內局	菅 英太郎

記番號	番號	交付局所名	預ケ人氏名
りはい	四六五	相模 田村局	高橋 芳三
しろく	七五〇	陸前 女川局	鈴木 甚藏
しろち	一〇九七	同 石森局	荒木 末吉
らあ	三三九七	石狩 瀧川局	阿蘇 惟德
をゐ	九〇二	下總 流山局	染谷 喜助
をはは	二四七六	安房 保田局	平石 松太郎
をすい	一五五〇	下總 野田局	稻田 幸治郎
むろ	二〇四九	信濃 松本局	倉田 信乃
同	四九〇五	同 局	同 一郎
ゐゐ	三三五六	下野 鹿沼局	福田 ミツ
紅にや	一七九	越後 新潟本町十二局	栗田 イネ
紅にき	一六四	同 白川局	小池 德次郎
紅ろて	四二六	同 國田局	高野 正次
むろ	二四四一	信濃 松本局	石原 新平
むむ	二〇一一	同 赤穗局	小林 こう
やち	八八七一	伊賀 上野局	古川 義三郎
ゐはを	六三二	陸中 野手崎局	菊池 ヒサシ
ゐつ	四三三	同 大迫局	石川 タキ
みはせ	一三四	羽前 永松局	佐藤 清
みいに	三五四四	同 白岩局	服部 勝次郎
やいた	二一一八	伊賀 佐那具局	後出 かねよ
たむ	三六〇	岩代 保原局	菅野 福藏
あいむ	一三一〇	武藏 中瀨局	大木 清作
あや	四四〇五	同 羽生局	中田 やす
あい紅	一六一八	同 玉川局	大隈 庫三郎
あゆ	二八九三	同 妻沼局	白石 利一
たはゐ	二八二四	磐城 湯江局	長岡 寅之助
たさ	二三二二	岩代 小濱局	飛田 クラノ
いほゐ	一一三一	武藏 本所小梅局	遠藤 みね
けいと	一三二九	羽後 鹿渡局	牧野 レン
恩り	二三四八	郵便爲替貯金管理所	佐野 喜造
をいと	二一九一	上總 一ノ宮局	東條 暢
恩た	一八五七	郵便爲替貯金管理所	有我 兵藏
をいま	一七八八	安房 千倉局	堀江 むめ
わにく	五〇一	三河 則定局	岡田 鐵吉
たいせ	八五八	磐城 矢吹局	津賀 たつ
をはは	二三八三	安房 保田局	岩崎 たつ

左記貯金通帳亡失ニ付キ若シ其所在ヲ發見シタル者ハ速ニ最寄郵便貯金取扱局所ニ屆出ツヘシ

明治四十年四月　統監府通信管理局

記番號	番號	交付局所名	預ケ人氏名
韓わ	八二二	韓國 永登浦	原 彥藏
同ろけ	一五	同 露島	糸井 稲藏

○證券保管通帳亡失

左記證券保管通帳亡失ニ付キ自今無效トス但シ其所在ヲ發見シタルトキハ速ニ郵便爲替貯金管理所ニ通報スヘシ

明治四十年四月　郵便爲替貯金管理所

記番號	番號	預ケ人氏名
恩め	九四五六	深津 宇一郎
恩ら	五二一	須崎 儀三郎
恩韓	六六四一	杉山 新四郎
恩り	一七一四	横山 佐市
恩し	一〇二一七	遠藤 傳左衛門
恩こ	六五三五	佐藤 喜一郎
恩い	三九三六	竹內 松太郎
恩わ	二四八八	池ノ島 庄太郎
恩み	七六三六	國分 新助
恩み	一〇一四四	伊藤 佐次郎
恩な	四四四〇	牧口 慶藏
恩ゐ	一〇六〇九	菊地 德藏
恩い	一四六九	寺田 佐七

○營業禁止

膽振國室蘭郡室蘭町大字千歳町番外地平民當時同國同郡同町大字札幌通五十七番地寄留　古物商　久野　岩太郎

右古物商取締法第十四條ニ依リ本月二十日ヨリ來ル五月十九日マテ一箇月間其營業ヲ禁止セリ

明治四十年四月　北海道廳

○村役場位置變更

與謝郡府中村役場位置ヲ同村大字大垣小字西光寺六番地ヘ變更ノ件去月五日認可セリ

明治四十年四月　京都府

三方郡十村役場位置ヲ今般同村大字上野第十三號第一番地ヘ變更セリ

明治四十年四月　福井縣

○狩獵免狀

第三九號　乙種三等狩獵免狀（亡失）　膽澤郡金ケ崎村大字西根三百四十番戸　齊藤　榮之丞

明治四十年四月　巖手縣

第二二二七號　乙種三等狩獵免狀（遺失）　鹿足郡柿木村大字福川　田村　今治

明治四十年四月　島根縣

第二五一二號　乙種三等狩獵免狀（遺失）　御調郡西野村三番邸　金本　金次郎

第二五四二號　同上（亡失）　沼隈郡浦崎村六百九十三番邸　高橋　了

明治四十年四月　廣島縣

津乙第二〇號　乙種三等狩獵免狀（紛失）　溫泉郡堀江村大字大渠　光宗　佐市

明治四十年四月　愛媛縣

○本支金庫移轉

那覇本金庫ハ本月二十二日那覇區字西七十五番地ヘ移轉シ松山本金庫所屬郡中支金庫ハ同二十七日愛媛縣伊豫郡中町大字灘町百四十一番地ヘ移轉ス

明治四十年四月　中央金庫

○購買入札

一金盥　千八百箇

一吞水入　四千箇

一厚布蛇管　四百五十條

一護謨蛇管　百條

一塗刷毛　六千箇

一護謨引金巾外一廉　二廉

一綾木綿外一廉　二廉

一模樣付純子外三廉　四廉

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、入札者ハ二年以來其業ニ從事スル證明書ヲ有スル者ニ限ル

右購買入札望ノ者ハ當部計算課ニ就キ契約書案及入札人心得等熟知ノ上來ル五月八日午後二時限營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ入札書ヲ差出スヘシ即時同課ニ於テ開札ス

此契約ハ佐世保海軍工廠會計部長代理海軍主計中監澁谷政次擔任ス

明治四十年四月二十三日　佐世保海軍工廠會計部

一「テー、エンド、アイ」式十二馬力石油發動機　二臺　入札保證金各自見積價格百分ノ五以上

右購買ス入札望ノ者ハ入札前日マテニ當場ニ就キ仕樣書、入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル五月八日午前十一時マテニ入札保證金ヲ納付シ同日正午十二時限入札スヘシ即時當場ニ於テ開札ス

此契約ハ電信燈臺用品製造所横濱製作場長平井恰次擔任ス

明治四十年四月二十三日　遞信省電信燈臺用品製造所横濱製作場

一舶來骸炭　一點　兵庫又ハ神戸納

右來ル五月八日神戸營業事務所ニ於テ入札執行

入札保證金豫算總代金百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

一電氣用品　八點　新橋納

右本月三十日當部ニ於テ入札執行

一白絲屑　十万斤

一乾白「レッド」　六千封

一信號旗　二千五百枚

一「バッファー」用護謨彈機　三百箇

一陶製絕緣器　二万箇

以上新橋納

一「ローモア」同等質鐵　六點

一封鎖用鐵線及鐵漿札　二點

一硝子製品　四點

一靡革及座革　二點

一西洋手拭　二點

一白毛絲外三點

一「チューブブラッシュ」　八千本

一「ゲージグラス」用護謨輪　三點

一水野土　千七百箱

一獸脂　五千斤

一彩料及繪具類　十六點

一「プチー」　一万封

以上上野納

一「ガードセリー」銑鐵　四十四万八千封

新橋又ハ横濱納

一竝形厚煉化石　岩淵納　二點

右來ル五月八日當部ニ於テ入札執行

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

第7141号　本文

帝國鐵道廳計理部

明治四十年四月二十三日

帝國鐵道廳工務部

明治四十年四月二十三日

北海道帝國鐵道管理局

明治四十年四月二十三日

○請負入札

○入札拂

北海道帝國鐵道管理局

明治四十年四月二十三日

貴衆兩議院事務局

明治四十年四月二十三日

○請負入札公告中訂正

第五師團經理部

明治四十年四月二十三日

○工事請負入札

大阪陸軍兵器支廠

明治四十年四月二十三日

橫濱檢疫所

明治四十年四月二十三日

橫須賀海軍工廠會計部

明治四十年四月二十三日

仙臺地方裁判所

明治四十年四月二十三日

帝國鐵道廳計理部

明治四十年四月二十三日

警視廳

明治四十年四月二十三日

○林野竈祓公告中訂正

宮城大林區署

明治四十年四月二十三日

○商業登記

東京區裁判所

八王子區裁判所

宮城大林區署

明治四十年四月二十三日

第7141号　本文

（三二）

第7141号　本文

官報　第七一四一號　明治四十年四月二十三日（第三種郵便物認可）

第7141号　本文

○臺灣銀行券發行週報

（明治四十年四月十六日）

發行高		一〇、一〇〇、三四三、五〇〇
準備	金貨及銀塊	一、八二二、七〇九、〇〇五
	公債證書	四四、九五二、八七〇、〇〇〇
	商業手形	五三、六九〇、三四〇、九二三
	計	四四、八七五、九二三、〇〇五
保證準備		一、三三七、〇〇〇

（明治四十年四月十六日）

株式會社臺灣銀行

○株券記名書換停止

當會社定款第四十條ニ依リ明治三十九年十月一日ヨリ同四十年三月三十一日ニ至ル期定株券ニ付キ本年五月一日ヨリ株主總會ヲ終ルマデ株券記名書換ヲ停止ス

明治四十年四月

日本郵船株式會社

○東京鹽釜間汽船運送同地ヨリ以上滿載出航歐洲印度香港及遠ノ郵船ハ左記ノ時刻ニ締切ル

本月二十四日請取

船名	行先	締切	書留	普通
汽船	鹽釜	同時	同一二時十四日午後二時	同一二時十四日午後一時

三本月二十七日積込同地ヨリ汽船鹽釜以遠ノ郵船ハ左記ノ時刻ニ締切ル

船名	行先	締切	書留	普通
特別急行	東京	二十七日午前十時	二十七日午前十時	二十七日午前十一時半
急行	市内各局	二十七日午前八時	二十七日午前八時	
普通	横濱	二十七日正午十二時	同日午前九時半	
色留通			同日午後一時	

（備考）小包ハ米國及ポートリコ宛

○同上締切廣告

本月二十七日頃シアトル經由定期ニテ歐米ヘ發送ノ郵便物ハ左記ノ時刻迄差出スヲ以テ滿期ノ後ハ翌回ノ發立ニ廻ス

行先	締切	書留	普通
歐洲	同二十四日午前十時	同二十四日午前十時	同二十四日午後一時
米國	同二十七日午前十時	同二十七日午前十時	同二十七日午後一時
加奈陀	同二十七日午前十時	同二十七日午前十時	同二十七日午後一時

○日本郵船株式會社貨物積出廣告

船名	行先	出帆	摘要
香港丸	香港	同二十四日午後四時	貨物積出ス
常陸丸	神戸	同二十五日午後四時	同
伊豫丸	大阪	同二十六日午後四時	同
近江丸	門司	同二十七日午後四時	同
土佐丸	大阪	同二十八日午後四時	同
香港丸	神戸	五月一日午後四時	同
常陸丸	門司	五月二日午後四時	同
伊豫丸	大阪	五月三日午後四時	同
近江丸	門司	五月四日午後四時	同
土佐丸	大阪	五月五日午後四時	同

○東京鹽釜間汽船運送同地ヨリ以上滿載出航歐洲印度香港及遠ノ郵船ハ左記ノ時刻ニ締切ル

本月二十四日請取

船名	行先	締切	書留	普通
汽船	鹽釜	同時	同一二時十四日午後二時	同一二時十四日午後一時

三本月二十七日積込同地ヨリ汽船鹽釜以遠ノ郵船ハ左記ノ時刻ニ締切ル

船名	行先	締切	書留	普通
特別急行	東京	二十七日午前十時	二十七日午前十時	二十七日午前十一時半
急行	市内各局	二十七日午前八時	二十七日午前八時	
普通	横濱	二十七日正午十二時	同日午前九時半	
色留通			同日午後一時	

（備考）小包ハ米國及ポートリコ宛

○同上締切廣告

本月二十七日頃シアトル經由定期ニテ歐米ヘ發送ノ郵便物ハ左記ノ時刻迄差出スヲ以テ滿期ノ後ハ翌回ノ發立ニ廻ス

行先	締切	書留	普通
歐洲	同二十四日午前十時	同二十四日午前十時	同二十四日午後一時
米國	同二十七日午前十時	同二十七日午前十時	同二十七日午後一時
加奈陀	同二十七日午前十時	同二十七日午前十時	同二十七日午後一時

○日本郵船株式會社貨物積出廣告

船名	行先	出帆	摘要
香港丸	香港	同二十四日午後四時	貨物積出ス
常陸丸	神戸	同二十五日午後四時	同
伊豫丸	大阪	同二十六日午後四時	同
近江丸	門司	同二十七日午後四時	同
土佐丸	大阪	同二十八日午後四時	同
香港丸	神戸	五月一日午後四時	同
常陸丸	門司	五月二日午後四時	同
伊豫丸	大阪	五月三日午後四時	同
近江丸	門司	五月四日午後四時	同
土佐丸	大阪	五月五日午後四時	同

○東京鹽釜間汽船運送同地ヨリ以上滿載出航歐洲印度香港及遠ノ郵船ハ左記ノ時刻ニ締切ル

本月二十四日請取

船名	行先	締切	書留	普通
汽船	鹽釜	同時	同一二時十四日午後二時	同一二時十四日午後一時

三本月二十七日積込同地ヨリ汽船鹽釜以遠ノ郵船ハ左記ノ時刻ニ締切ル

船名	行先	締切	書留	普通
特別急行	東京	二十七日午前十時	二十七日午前十時	二十七日午前十一時半
急行	市内各局	二十七日午前八時	二十七日午前八時	
普通	横濱	二十七日正午十二時	同日午前九時半	
色留通			同日午後一時	

（備考）小包ハ米國及ポートリコ宛

○同上締切廣告

本月二十七日頃シアトル經由定期ニテ歐米ヘ發送ノ郵便物ハ左記ノ時刻迄差出スヲ以テ滿期ノ後ハ翌回ノ發立ニ廻ス

行先	締切	書留	普通
歐洲	同二十四日午前十時	同二十四日午前十時	同二十四日午後一時
米國	同二十七日午前十時	同二十七日午前十時	同二十七日午後一時
加奈陀	同二十七日午前十時	同二十七日午前十時	同二十七日午後一時

○日本郵船株式會社貨物積出廣告

船名	行先	出帆	摘要
香港丸	香港	同二十四日午後四時	貨物積出ス
常陸丸	神戸	同二十五日午後四時	同
伊豫丸	大阪	同二十六日午後四時	同
近江丸	門司	同二十七日午後四時	同
土佐丸	大阪	同二十八日午後四時	同
香港丸	神戸	五月一日午後四時	同
常陸丸	門司	五月二日午後四時	同
伊豫丸	大阪	五月三日午後四時	同
近江丸	門司	五月四日午後四時	同
土佐丸	大阪	五月五日午後四時	同

○前錄

（三）

第7141号　叙任及辞令

○敍任及辭令

本欄敍賜ノ項ニ「七級(年金一〇〇)旭八等」トアルハ明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ功七級金鵄勳章並ニ年金百圓及勳八等白色桐葉章ヲ授ケ賜ヒシ者又同項ニ「旭八等一五〇」トアルハ同シク勳八等白色桐葉章及金百五十圓ヲ授ケ賜ヒシ者又賜金ノ項ニ單ニ「五〇」トアルハ同シク金五十圓ヲ賜ヒシ者ナルモ卷帙浩瀚ニ涉ルヲ以テ其要略ノミヲ掲ク其他皆此例ニ倣フ

陸海軍軍人軍屬ニシテ前項ノ賞與ヲ受ケタル者ハ總テ明治三十七八年從軍記章ヲ授與セラル

○明治三十九年四月一日

瑞八等　七〇　雲林院源三郎
同　同　早房英次郎
同　同　田村郁太郎
同　同　中島平一郎
同　同　山川德松
同　同　安土禮衛
同　同　鐵道書記補　飯島繼雄
同　同　出村峰松
同　同　野田茂
同　同　島居親
瑞七等　一二〇　鐵道書記補　坂本光太郎
瑞八等　七〇　吉村孝
同　同　伊藤傳十郎
同　同　水庄眞次郎
同　同　片岡竹造
同　同　後藤紋二
同　同　川上大輔
同　同　大井泰輔
同　同　永野英行
同　同　軍司隆次郎
同　同　境宗雄
同　同　川口孝治
同　同　今田安治
同　同　後藤彌四郎
同　同　百濟哲太郎
同　同　楢崎壽一
同　同　岩澤信
同　同　三島學太郎
同　同　小野平內
同　同　岡田梅之助
同　同　瀨沼堅次
同　同　金井堅
同　同　田中梅五郎
同　同　經島長孝
同　同　中井德松
同　同　足立菊次郎
同　同　川口宗基
同　同　大湯平治
同　　鐵道書記補　櫛股峰五郎
同　七〇　高橋庄吉

同　同　石倉孝四郎
同　同　元鐵道書記補　井上萬二
同　同　馬場榮喜
同　同　大矢亘太郎
同　同　渡邊幸熊
瑞七等　一二〇　鐵道書記補　田中民次
瑞八等　七〇　岡部政藏
同　同　香取庸七
同　同　中村仲
同　同　野中武次郎
同　同　榊原定規
同　同　飯島力松
同　同　宮崎和三郎
同　同　横山太三郎
同　同　浦野纈吾
同　同　德原戚一郎
同　同　中原直吉
同　同　酒井繁藏
同　　伊東普作
同　　原安一郎
同　七〇　根本末吉
同　同　高橋孝一郎
同　同　新宮亮
同　同　井上外吉
同　同　石井仁六
同　同　榊原佐七
同　同　福澤虎一
同　同　若杉德次郎
同　同　鐵道書記補　中野幸平
同　同　林幹
同　同　松坂甫
同　同　勝山與惣治郎
同　同　大村永久
同　同　野村幸藏
同　同　川島鞏次郎
同　同　山本正尙
同　同　立花長見
同　同　有元年彥
同　　菅野繼之助
同　七〇　石田辰五郎

同　同　關田源作
同　同　安田通貞
同　同　古川健次
同　同　片桐佐市
瑞七等　一二〇　鐵道書記　戸谷賢次郎
瑞八等　七〇　金井吉五郎
同　同　藤原庄太郎
同　同　高田孝之
同　同　香取眞策
同　同　岡村美穗松
同　同　岩津久三郎
同　同　德武東司
同　同　國米彌右工門
同　同　鈴木源太郎
同　同　保本峰太郎
同　同　宮本爲貞
同　同　山下寒吾
同　同　植木梅治郎
同　同　岩崎留三郎
同　同　市原喜次郎
同　同　田村道甚
同　同　林庄七
同　同　田中鐵次郎
同　同　高林二郎
同　同　五十嵐豐次郎
同　同　森田由藏
同　同　鈴木房次
同　同　川久保變
同　同　小川吉太郎
同　同　山本益三
同　同　藤野信治郎
同　同　木村条吉
同　同　大野直幹諾
同　同　久野繁男
同　同　伊藤富五郎
同　同　關內發藏
同　同　吉田敎令
同　同　北村照次郎
同　同　遠山亮吉
同　同　齋藤寶太郎
同　同　梅村元七
瑞七等　一二〇　稻見藤三郎
瑞八等　七〇　石井源治郎
同　同　山口龜太郎
同　同　大野米次
同　同　山口彥太郎
同　同　西山克昌
同　同　宮川大藏
同　同　上田勇助
同　同　谷久知銀次郎
同　同　瀧井孝一

同　同　若原喜一郎
同　同　梅澤由平
同　同　池田代藏
同　同　山本宗二
同　同　清水岸太郎
同　同　染野梅吉
同　同　堀山善勝
同　同　堀吉次
同　同　今岡齋賀造
同　同　上原好雄
同　同　横田東海
同　同　太田正治
同　同　山本歌藏
同　同　安宅七郎
同　同　道家秀雄
同　同　村上玉藏
同　同　竹中喜一
同　同　山崎總太郎
同　同　伴小翹
同　同　酒井清吉
同　同　德田重太郎
同　同　三木兼次郎
同　同　高橋宗三郎
同　同　福田藤兵衞
同　同　芝野芳三郎
同　同　津田守久
同　同　杉原武次郎
同　同　梅林宿十郎
同　同　加藤寅吉
同　同　鈴木直一郎
同　同　長谷川松亭
同　同　水木榮三
同　同　羽川巖水
同　同　三浦發直
同　同　木村金太郎
同　同　大崎發作
同　同　米山四作
同　同　石川秀雄
同　同　諸角逢二
同　同　佐藤一助
同　同　海東孝
同　同　神永亘
同　同　河野喜重
同　同　安齋千代松
同　同　渡邊柳太郎
同　同　早井亞辭
同　同　三村勇
同　同　河野誠太
同　同　高橋賢明
同　同　上田讓
同　同　伊原昇進

叙任及辞令

叙勲等	賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
瑞八等	七〇		齋藤久榮
同	同		末松謙澄
同	同		上尾勇一郎
同	同		大市末吉
同	同		大野一太郎
同	同		小尾繁治
同	同		上飼政吉
同	同		大河内仁六
同	同		稲垣秀吉
同	同		青柳體次郎
同	同		野田賢
瑞七等	二〇		竹内政次郎
瑞八等	七〇	鐵道書記	石井綱次
瑞七等	二〇		久保田金十郎
瑞八等	七〇		小泉保
瑞七等	二〇	鐵道書記	石本太田
瑞八等	七〇		久保田孝太郎
瑞七等	二〇		初音本位田久雄
瑞八等	七〇		位村上繁太郎
瑞七等	二〇		亘松竹政次郎
瑞八等	七〇		村上虎治
瑞七等	二〇		檜井國助
瑞八等	七〇		鈴木小池辰重
瑞七等	二〇		長谷川政吉
瑞八等	七〇		林橋本辰歳
瑞七等	二〇		中村角次郎
瑞八等	七〇		佐藤千代吉
瑞七等	二〇		稲垣嘉吉
瑞八等	七〇		池内新助
瑞七等	二〇		柘植毛寅次郎
瑞八等	七〇		岡本鐵歳
瑞七等	二〇		坂場太郎
瑞八等	七〇		内藤元治郎
瑞七等	二〇		後藤初次郎
瑞八等	七〇		安田行五郎
瑞七等	二〇		山口慎五郎
瑞八等	七〇		石川勇吉
瑞七等	二〇		西山彌兵衛
瑞八等	七〇		久永了一
瑞七等	二〇	鐵道書記補	内藤政次郎
瑞八等	七〇		小林菊松
瑞七等	二〇	鐵道書記	友田繁次郎
瑞八等	七〇		川島正次郎
瑞七等	二〇	鐵道書記	林豊太郎
瑞八等	七〇		佐藤柏葉太郎
瑞七等	二〇		石塚太郎
瑞八等	七〇		白井太郎
瑞七等	二〇		大綠羊吉
瑞八等	七〇		梅林龍雄
瑞七等	二〇		上村有利
瑞八等	七〇		兩角錦利
瑞七等	二〇		香川勝洲
瑞八等	七〇		楊谷善治
瑞七等	二〇		大倉秀吉
瑞八等	七〇		小林善治
瑞七等	二〇		加藤平三
瑞八等	七〇		西谷利吉
瑞七等	二〇		森川一太郎
瑞八等	七〇		大三川平吉
瑞七等	二〇		市太郎
瑞八等	七〇		土屋善治
瑞七等	二〇		北原健雄
瑞八等	七〇		野口助太郎
瑞七等	二〇		柴谷藏
瑞八等	七〇		伊藤鐵造
瑞七等	二〇		奥山孝三郎
瑞八等	七〇		柳作
瑞七等	二〇		川上七郎
瑞八等	七〇		原口太郎
瑞七等	二〇		大倉鶴次郎
瑞八等	七〇		大橋新太郎
瑞七等	二〇		仙石貞吉
瑞八等	七〇		木村見太郎
瑞七等	二〇		高田卯三郎
瑞八等	七〇		渡利市太郎
瑞七等	二〇		中野宮吉
瑞八等	七〇		大谷六郎
瑞七等	二〇		相田平吉
瑞八等	七〇		小林内藏
瑞七等	二〇		上遠野
瑞八等	七〇		宇野
瑞七等	二〇		佐々木
瑞八等	七〇		橋本
瑞七等	二〇		坂根
瑞八等	七〇		高橋
瑞七等	二〇		稲垣

同	同		伊藤文三郎
同	同		鈴木
同	同		後藤
同	同		藤本
同	同		寺野
同	同		武田
同	同		島田
同	同		寸田
同	同		和田
同	同		内藤
同	同		岩本
同	同		青木
同	同		伸野
同	同		高田
同	同		小西
同	同		波邊
同	同		留次郎
同	同		明德
同	同		源藏
同	同		得三
同	同		吹順次郎
同	同		孫松三
同	同		清四郎
同	同		金太郎
同	同		敏鋤
同	同		米藏
同	同		喜兵衛
同	同		清三
同	同		藤吉
同	同		君藏
同	同		伊藤
同	同		小吉
同	同		今井
同	同		平野
同	同		加藤
同	同		五藏
同	同		栗生
同	同		兒玉
同	同		生村
同	同		門田
同	同		鳥羽
同	同		清永
同	同		大坪
同	同		中野
同	同		長太郎
同	同		金次郎
同	同		西益
同	同		由太郎
同	同		三太郎
同	同		鈴木
同	同		村崎
同	同		三浦
同	同		深川
同	同		須賀原
同	同		柳井
同	同		元次
同	同		信作
同	同		綱島
同	同		長太郎
同	同		七藏
同	同		久吉
同	同		兵吉
同	同		齊藤
同	同		佐々木
同	同		久次郎
同	同		七藏
同	同		橋本
同	同		坂根
同	同		高橋
同	同		稲垣

同	同		熊谷秀吉
同	同		小林善治
同	同		加藤平三
同	同		西谷利吉
同	同		森川一太郎
同	同		大三川平吉
同	同		市太郎
同	同		土屋善治
同	同		北原健雄
同	同		野口助太郎
同	同		柴谷藏
同	同		伊藤鐵造
同	同		奥山孝三郎
同	同		柳作
同	同		川上七郎
同	同		原口太郎
同	同		大倉鶴次郎
同	同		大橋新太郎
同	同		仙石貞吉
同	同		木村見太郎
同	同		高田卯三郎
同	同		渡利市太郎
同	同		中野宮吉
同	同		大谷六郎
同	同		相田平吉
同	同		小林内藏
同	同		上遠野
同	同		宇野
同	同		佐々木
同	同		橋本
同	同		坂根
同	同		高橋
同	同		稲垣

同	同		大倉秀吉
同	同		小林善治
同	同		加藤平三
同	同		西谷利吉
同	同		森川一太郎
同	同		大三川平吉
同	同		市太郎
同	同		土屋善治
同	同		北原健雄
同	同		野口助太郎
同	同		柴谷藏
同	同		伊藤鐵造
同	同		奥山孝三郎
同	同		柳作
同	同		川上七郎
同	同		原口太郎
同	同		大倉鶴次郎
同	同		大橋新太郎
同	同		仙石貞吉
同	同		木村見太郎
同	同		高田卯三郎
同	同		渡利市太郎
同	同		中野宮吉
同	同		大谷六郎
同	同		相田平吉
同	同		小林内藏
同	同		上遠野
同	同		宇野
同	同		佐々木
同	同		橋本
同	同		坂根
同	同		高橋
同	同		稲垣

叙勲等	賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
瑞八等	七〇		齋藤久榮
同	同		末松謙澄
同	同		上尾勇一郎
同	同		大市末吉
同	同		大野一太郎
同	同		小尾繁治
同	同		上飼政吉
同	同		大河内仁六
同	同		稲垣秀吉
同	同		青柳體次郎
同	同		野田賢
瑞七等	二〇		竹内政次郎
瑞八等	七〇	鐵道書記	石井綱次
瑞七等	二〇		久保田金十郎
瑞八等	七〇		小泉保
瑞七等	二〇	鐵道書記	石本太田
瑞八等	七〇		久保田孝太郎
瑞七等	二〇		初音本位田久雄
瑞八等	七〇		位村上繁太郎
瑞七等	二〇		亘松竹政次郎
瑞八等	七〇		村上虎治
瑞七等	二〇		檜井國助
瑞八等	七〇		鈴木小池辰重
瑞七等	二〇		長谷川政吉
瑞八等	七〇		林橋本辰歳
瑞七等	二〇		中村角次郎
瑞八等	七〇		佐藤千代吉
瑞七等	二〇		稲垣嘉吉
瑞八等	七〇		池内新助
瑞七等	二〇		柘植毛寅次郎
瑞八等	七〇		岡本鐵歳
瑞七等	二〇		坂場太郎
瑞八等	七〇		内藤元治郎
瑞七等	二〇		後藤初次郎
瑞八等	七〇		安田行五郎
瑞七等	二〇		山口慎五郎
瑞八等	七〇		石川勇吉
瑞七等	二〇		西山彌兵衛
瑞八等	七〇		久永了一
瑞七等	二〇	鐵道書記補	内藤政次郎
瑞八等	七〇		小林菊松
瑞七等	二〇	鐵道書記	友田繁次郎
瑞八等	七〇		川島正次郎
瑞七等	二〇	鐵道書記	林豊太郎
瑞八等	七〇		佐藤柏葉太郎
瑞七等	二〇		石塚太郎
瑞八等	七〇		白井太郎
瑞七等	二〇		大綠羊吉
瑞八等	七〇		梅林龍雄
瑞七等	二〇		上村有利
瑞八等	七〇		兩角錦利
瑞七等	二〇		香川勝洲
瑞八等	七〇		楊谷善治
瑞七等	二〇		大倉秀吉
瑞八等	七〇		小林善治
瑞七等	二〇		加藤平三
瑞八等	七〇		西谷利吉
瑞七等	二〇		森川一太郎
瑞八等	七〇		大三川平吉
瑞七等	二〇		市太郎
瑞八等	七〇		土屋善治
瑞七等	二〇		北原健雄
瑞八等	七〇		野口助太郎
瑞七等	二〇		柴谷藏
瑞八等	七〇		伊藤鐵造
瑞七等	二〇		奥山孝三郎
瑞八等	七〇		柳作
瑞七等	二〇		川上七郎
瑞八等	七〇		原口太郎
瑞七等	二〇		大倉鶴次郎
瑞八等	七〇		大橋新太郎
瑞七等	二〇		仙石貞吉
瑞八等	七〇		木村見太郎
瑞七等	二〇		高田卯三郎
瑞八等	七〇		渡利市太郎
瑞七等	二〇		中野宮吉
瑞八等	七〇		大谷六郎
瑞七等	二〇		相田平吉
瑞八等	七〇		小林内藏
瑞七等	二〇		上遠野
瑞八等	七〇		宇野
瑞七等	二〇		佐々木
瑞八等	七〇		橋本
瑞七等	二〇		坂根
瑞八等	七〇		高橋
瑞七等	二〇		稲垣

同	同		伊藤文三郎
同	同		鈴木
同	同		後藤
同	同		藤本
同	同		寺野
同	同		武田
同	同		島田
同	同		寸田
同	同		和田
同	同		内藤
同	同		岩本
同	同		青木
同	同		伸野
同	同		高田
同	同		小西
同	同		波邊
同	同		留次郎
同	同		明德
同	同		源藏
同	同		得三
同	同		吹順次郎
同	同		孫松三
同	同		清四郎
同	同		金太郎
同	同		敏鋤
同	同		米藏
同	同		喜兵衛
同	同		清三
同	同		藤吉
同	同		君藏
同	同		伊藤
同	同		小吉
同	同		今井
同	同		平野
同	同		加藤
同	同		五藏
同	同		栗生
同	同		兒玉
同	同		生村
同	同		門田
同	同		鳥羽
同	同		清永
同	同		大坪
同	同		中野
同	同		長太郎
同	同		金次郎
同	同		西益
同	同		由太郎
同	同		三太郎
同	同		鈴木
同	同		村崎
同	同		三浦
同	同		深川
同	同		須賀原
同	同		柳井
同	同		元次
同	同		信作
同	同		綱島
同	同		長太郎
同	同		七藏
同	同		久吉
同	同		兵吉
同	同		齊藤
同	同		佐々木
同	同		久次郎
同	同		七藏
同	同		橋本
同	同		坂根
同	同		高橋
同	同		稲垣

同	同		大倉秀吉
同	同		小林善治
同	同		加藤平三
同	同		西谷利吉
同	同		森川一太郎
同	同		大三川平吉
同	同		市太郎
同	同		土屋善治
同	同		北原健雄
同	同		野口助太郎
同	同		柴谷藏
同	同		伊藤鐵造
同	同		奥山孝三郎
同	同		柳作
同	同		川上七郎
同	同		原口太郎
同	同		大倉鶴次郎
同	同		大橋新太郎
同	同		仙石貞吉
同	同		木村見太郎
同	同		高田卯三郎
同	同		渡利市太郎
同	同		中野宮吉
同	同		大谷六郎
同	同		相田平吉
同	同		小林内藏
同	同		上遠野
同	同		宇野
同	同		佐々木
同	同		橋本
同	同		坂根
同	同		高橋
同	同		稲垣

非売品

賜金　陸軍官等位勳功爵　氏名

[illegible]

[illegible]

第7141号　叙任及辭令

賜金　陸軍官等位勳功爵

氏名		
谷澄	同	慨治
永井	同	慨之輔
讓	同	午
園府田高之助	同	庚
大久保	同	村上清
理	同	岡宮
幸榮	同	岩島
覺次郎	同	藤田
作	同	富田
辨吾	同	十藤
安次郎	同	青山
擴	同	藤田
岡本	同	藤田
太田	同	藤田
眞田	同	藤田
增野	同	藤田
興助	同	藤田
信吉	同	藤田
林吉	同	藤田
秘	同	藤田
林	同	藤田
萬吉	同	藤田
繁	同	藤田
熊部	同	藤田
直一郎	同	藤田
杉田	同	藤田
善吉	同	藤田
橋爪	同	藤田
三治	同	藤田
來吉	同	藤田
島田	同	藤田
竹下	同	藤田
養	同	藤田
菊地	同	藤田
谷	同	藤田
正八位勳八等		
倉永	同	藤田
今	同	藤田
關沒	同	藤田
遠藤本	同	藤田
藏	同	藤田
小野口	同	藤田
增野	同	藤田
橫田	同	藤田
岡本	同	藤田
太田	同	藤田
眞田	同	藤田
水田	同	藤田
鈴木	同	藤田
德川	同	藤田
原	同	藤田
須藤	同	藤田
森	同	藤田

氏名		
村上	同	清之輔
宮本	同	慨治
岡本	同	柴田
廣午	同	留太郎
九十九	同	高野
幸次郎	同	政太郎
岩島	同	直記
覺次郎	同	眞一
藤田	同	十郎
富田	同	良一
藤田	同	代吉
藤田	同	矢一
藤田	同	源次
藤田	同	亮
藤田	同	君藏
藤田	同	永顯
藤田	同	音一
藤田	同	四郎
藤田	同	五十
藤田	同	城三
藤田	同	伊之助
藤田	同	正吉
藤田	同	政吉
藤田	同	辰平
藤田	同	常三郎
藤田	同	造
藤田	同	鹿藏
藤田	同	現
藤田	同	富作
藤田	同	柳
藤田	同	口
藤田	同	坂
藤田	同	池
藤田	同	吉村
藤田	同	奈良
藤田	同	常吉
藤田	同	造
藤田	同	田
藤田	同	村
藤田	同	加藤
藤田	同	有江
藤田	同	高原
藤田	同	藤村
藤田	同	植村
藤田	同	森村
藤田	同	橋
藤田	同	尾島
藤田	同	大木
藤田	同	大澤
藤田	同	宮川
藤田	同	岡野
藤田	同	伊藤
藤田	同	藤
藤田	同	中村
藤田	同	大越
藤田	同	井
藤田	同	岩
藤田	同	屋
藤田	同	西
藤田	同	小林
藤田	同	野
藤田	同	由松
藤田	同	坂
藤田	同	拾次郎

氏名		
淺原	同	義江
宇佐美	同	誠三
中川	同	鎌一
瀧	同	望
石黑	同	貫一
增野	同	興助
橫田	同	安次郎
岡本	同	擴吾
太田	同	辨吾
眞田	同	幸榮
大久保	同	理
園府田高之助	同	九十九
永井	同	讓
谷澄	同	慨治

氏名		
松田	同	增藏
山坂	同	善作
樹田	同	拾次郎
西宮	同	眞一
稻	同	繁助
四太郎	同	眞三郎
小山	同	佐正吉
河村	同	英次郎
常左工門	同	誌
黑田	同	豐吉
梅	同	彥次郎
常岡	同	鹿藏
逸見	同	美雄
高	同	淳之吉
柳	同	小一郎
波田	同	吉太郎
堀田	同	勝次郎
中村	同	隆貫
平野	同	萬之助
吉原	同	彥次郎
比佐	同	秀城
三戶	同	京
高野	同	辰雄
上野	同	元助
瀧	同	三郎

氏名		
田村	同	完吉
野	同	直記
佐	同	貫夫
市	同	治
田	同	重
橋	同	治
笠倉	同	正三
山本	同	重
留太郎	同	七次
安松	同	九
山崎	同	來
久次	同	一
恩田	同	延
香	同	準藏
正	同	太田
安次郎	同	清
太田	同	欽正
山尾	同	清次郎
今井	同	出
加藤三	同	金次郎
津	同	太郎
高川	同	長信
內田	同	欽次郎
森	同	笠
高橋	同	喜一郎
笠原	同	錠
平	同	永藏
門	同	助治
青山	同	十郎
富田	同	眞一郎
藤田	同	覺次郎
岩島	同	幸次郎
富田	同	九十九
岡宮	同	庚午
村上	同	清之輔

氏名		
柴田	同	留太郎
伊坂	同	秀次郎
大竹	同	寬
上	同	正
關根	同	芳太郎
豐	同	一

氏名		
南	同	直記
佐野	同	貞夫
島田	同	市治
渡邊	同	信夫
高草木	同	正一
永澤	同	信治
末	同	信吉
金澤	同	龜之助
山邊	同	勉
名	同	登
橫山	同	林次郎
陶	同	治
林	同	振次郎
佐太郎	同	登
榮	同	善吾
川	同	常太郎
中	同	關口
駒崎	同	近藤
瀧田	同	常次郎
高次郎	同	龜藏
佐久間	同	萬吉
辰治	同	松
戶	同	羽部
喜一郎	同	登利松
喜市	同	生榮次郎
坂	同	羽丹生
吉	同	哲雄
靜雄	同	泉澤
謙一	同	鈴木
倉谷	同	幸治郎
土谷	同	長一
大	同	鈴木
田中	同	寅盛
大川	同	尾澤
山本	同	高橋
安西	同	一
三次郎	同	川瀨
鈴木	同	井
古川	同	逸平
利	同	一方
太郎	同	川瀨
大	同	井
水倉	同	高橋
宮城	同	伊
源	同	喜一郎
猪	同	堀池
波邊	同	波田
河	同	吉太郎
佐正	同	勝次郎
黑	同	逸
小山	同	柳
樹田	同	高
熊太郎	同	逸
四太郎	同	子
山內	同	淳之吉
松坂	同	美雄
拾次郎	同	淳之助

賜金　陸軍官等位勳功爵　鐵道書記

氏名		
谷村	同	喜三郎
高屋	同	小一
平野	同	武成
橫山	同	健六郎
近藤	同	吉村
長妻	同	治郎
村岡	同	德一
長治郎	同	山口
石垣	同	隈吉
今立	同	英雄
渡邊	同	寅松
石口助右衛門	同	孝悌
大島	同	安治
井	同	那倉
中野	同	爲吉
三津田	同	鈴木
織	同	染野
健一	同	安治
田川	同	杉山
藤	同	逸
小池	同	三次
賓	同	政吉
舉	同	豐吉
逸治	同	田中
山崎	同	寅松
弘	同	小野
金澤	同	貫
龜之助	同	上野
龜	同	寅次郎
信田	同	小野
末	同	寅次郎
永澤	同	小野
正一	同	寅次郎
高橋木	同	信治
宇	同	信夫
加	同	上野
河	同	寅次郎
深田	同	上野
竹	同	寅次郎
高	同	上野
津	同	寅次郎
植	同	上野
口	同	寅次郎
坂	同	上野
池	同	寅次郎
吉村	同	上野
奈良	同	寅次郎
常	同	上野
造	同	寅次郎
田	同	上野
村	同	寅次郎
加藤	同	上野
有江	同	寅次郎
高原	同	上野
藤村	同	寅次郎
植	同	上野
森村	同	寅次郎
橋	同	上野
尾島	同	寅次郎
大木	同	上野
大澤	同	寅次郎
宮川	同	上野
岡野	同	寅次郎
伊藤	同	上野
藤	同	寅次郎
中村	同	上野
大越	同	寅次郎
井	同	上野
岩	同	寅次郎
屋	同	上野
西	同	寅次郎
小林	同	上野
野	同	寅次郎
由松	同	上野
坂	同	寅次郎
拾次郎	同	上野

氏名		
增藏	同	寅次郎
善作	同	上野
拾次郎	同	寅次郎
眞一	同	上野
繁助	同	寅次郎
眞三郎	同	上野
佐正吉	同	寅次郎
誌	同	上野
豐吉	同	寅次郎
彥次郎	同	上野
鹿藏	同	寅次郎
美雄	同	上野
淳之吉	同	寅次郎
小一郎	同	上野
寅次郎	同	寅次郎
勝次郎	同	上野
隆貫	同	寅次郎
萬之助	同	上野
彥次郎	同	寅次郎
秀城	同	上野
京	同	寅次郎
辰雄	同	上野
元助	同	寅次郎
三郎	同	上野

官報　第七一四一號　明治四十年四月二十三日

陸軍官等俸給敍功賜金

賜金 氏名

多田景治 野村音次郎 竹内邦之助 吉田彌太郎 大澤直次郎 金森海治 鵜戸市五郎 杉崎甚次郎 水野太郎 堀萬善十郎 石川太吉 田口信吉 上田嚴男 坂村之助 横田辰三郎 高杉仁次郎 西村五之助 竹内段彌助 菅己龜太郎 林五一 廻鐵郎 柳町五太郎 下村五郎 本田愛武郎 稲葉太郎 元村文郎 羽田太郎 和田國貞郎 小島拾造 島田太郎 丸山三之助 瀬山市彥人 下關兼三吉 尾井國之彥 荒熊吉 森原忠義郎 杉浦貞三郎 貫田次郎 齊藤八郎 秦太太郎 瀧口作太彥 井上虎之助 柴田松之郎 赤尾健太郎 米多增豐治 西村太郎 金森芳郎 同勢吉 坂田伊卯郎 古谷次郎 松本欽一郎 松尾彥亮吉 永坂專太 高田勝次郎

北村文藏 小出文字 中村精一郎 家入嘉吉 小田嘉吉 小島眞金 小林若三郎 三上三郎 本田鐵平 大保正樹 藤井百吉 竹津文藏 曾我武吉 飯野秋平 服部房五郎 小田敏雄 下田勇治 野中仁三郎 片岡幸助 花山英一 秋澤藤次郎 宮田松平 和田卯八 横川清寛 吉田直水 井田孝次郎 南口清人 井口豐正 篠原重三 壺坂儉市 長谷川久吉 宇田太忠治 松井龍之 大星谷男 山世正止 河野部文 武田寛二 成瀬之太郎 牟井正之助 筒井興作 吉村龍八 新飯清吉 甲斐光治郎 福坂浅次 脇坂吉之助 渡部正之助 田代勝太郎 水野三喜次 杉田吉太郎 周次 正男 遜吉 五郎

勳八等

大村紫信 木村熊要 蘆田川銃太郎 今村太定 伊藤懷次郎 嘉屋鶴次郎 長和春慶 安田恒夫 佐田久遣 四本正太郎 杉本常吉 中村武 中島禮信 林三玄熊 高須賀綱一郎 久木元三郎 市川銀之助 岩田才次郎 奧澤安平 齊藤德太郎 小村瀛次郎 吉野寺忠次三郎 仁安寛信 吉木義信 牛田治三郎 花原正孝 北岡眞盛 荒田平五郎 筌木吉之進 吉弘德三郎 浦長通夫 奧井則道 源山卯一 曲牧季吉 大山喆綱 大西鎗太郎 辻政吉 矢橋榮太郎 中島梅吉 前川又三郎 川北德三郎 澤口坦次 山下淺吉 松本松吉 眞保八太郎 奧原平六 光寺政市 板倉篠蔵 山本喜十郎 平野熊次郎 河本鐵之助 千葉鐵次郎 大倉平太昇

田中理三郎 鳳野安太郎 福永竹次郎 松田鑑治 鹿岡彌次郎 安藤宮次郎 渡邊市太郎 岡口鐵吉 佐藤孝次郎 鵜井倫太郎 長谷川勝秀郎 長谷川作次郎 新谷十郎 胡田平太郎 高坂甲太郎 保原信 平田裕吉 高輪昌司 郷田勇登 柚殿笈三 猪坂吉之助 松田巳忠 椋原政敬 武市兵衛 山田瓦作 守町修慶 松川龜吉 蝋野忠吉 坂西辰郎 曽次郎 大田代常六郎 高田成美 奈須健司 岩城行衛 天野三郎 松崎中知雄 鈴木晋 長園義周 佐々木錠治 花澤錬一 平川周平 三宅乙吉 齊藤三郎 勝山三郎 相川理三郎 五十嵐安大助 佐久間正吉 中村岩助 西幡三郎 小村治郎 津岡兵久吉 吉山榮造 澤山

山本熊治 木山寛八 小林誠 寶木新平 岸藤能平 内原二郎 高原春宗 相田弘 岡田榮 樫田豐 高川久 藤野清次郎 矢田市太郎 須原利三郎 石木清太郎 鈴原久十郎 月木欣之助 青澤作太郎 芦岡鐵次郎 福肥勝治 土間盛郎 水本忠五郎 佐々木市造 守田光治 増野太郎 永村鐵石 西井奈良治 熊本三文司 柳瀬叉郎 岩見又吉 三村港知 中筋淸吉 山岡源作 五十嵐二 田中精城 川島千直 高木五郎 安藤淸玉五郎 川原岩三郎 井上治太郎 森秀藏 橋本市内 田口龜吉 直江安次郎 大川識治 塚越顯三 藤村定直 星野重宣 平崎恐造 山藤太郎 伊田信太吉 太田之岩助 依田實

勳八等

讚田喜 脇佐重祐 伊川俊寛 石友平作 來倉米吉 家田正吉 鎌牧眞晴 印木有吉 青根市藏 利川已之助 栗田春比古 菅井已藏 石開房吉 新野玉親 杉藤正介 伊子光雄 金野太郎 上村增造 定島安新 福留三郎 百永太治 松西吉郎 小中定二郎 田野鎗太郎 鶴川朝次郎 石川基 井平勇 小日向和助 小見之進 塚浦淸治 藤中光一 松江友雄 田中重規 深原三郎 新川五夫 宮信安郎 前原賢太郎 沖原伊太要 竹川長二 梅澤隆吉 稲川治郎 野橋德藏 高川重吉 笹本鐵平 橋田銀郎 菊山五郎 松島兼松 網部淸兒 渡藤常次郎 近川德治郎 荒輪之吉 三飯宇久太 新田金次郎 池田政太郎 伊藤

勳八等

馬淵井之助 藤崎熊吉 星野公淸 森田進 近藤太郎 三田增信 和田幸 鎌永留吉 日下部忠次 岡村惠務 金谷佐代治 本多太郎 高野實作 宇佐美千尋 中村亥吉 木村信三郎 佐竹保二 大山親擧 村石龜雄 土師逸一 藤田熊次郎 丸山平八郎 大國德次郎 江木芳太 高山禮作 長野鶴吉 村原德次郎 當桃永作市 胡澤要 澤田二郎 藤西省治 小尾拾次郎 横葉源治 千橋新八郎 高浦留藏 三崎喜一 西本守市 塚井九郎 谷本九鉞 山島鐵次二郎 澁見重次 岩野定之助 上田織之助 堤寛 二階雄 高木金之助 伊東吉太郎 野澤茂次郎 川名伊三太郎 山内眞鉄吉 清水甫 吉積九藏 古橋十卯吉 佐藤

加藤嘉市 鈴木亮一 植村大次郎 廣瀬彌助 萩原祐太郎 吉田銀次郎 岸乙助 石橋辰三郎 小倉幸次郎 岩澤直高 山路源太郎 前島源太郎 黑田民之助 淺田健造 永田甚作 夏目直藏 谷口喜八郎 目須田禮助 山原隆男 西谷房吉 長濱三之助 永山武雄 山名豐時 武部賀三 福井新次郎 奥村由一 山脇萬二 岩田辨清 近藤政之助 今関之次 上野兵太郎 上田英治 内田房五郎 北原宗登 鈴木松之助 不破繁 川村利吉 小杉活二 河内米藏 棚橋康壽 鈴川太郎 清澤榮長藏 栗本太郎 荒井喜太郎 坂本三郎 林健一 田中治三郎 北田銃重 土本隆太郎 工藤太郎 茂垣國太郎 松野桑 牧野豐造 田中文太郎 粟田米吉

第7141号 叙任及辭令

氏名	陸軍官等位勳功爵	賜金
小田文治郎	旭八等	一五〇
加藤政隆	同	同
鯖田旭正	同	同
當行勇雄	同	同
平並隆吉	同	同
中井友春	同	同
今井重吉	同	同
相羽金三郎	同	同
櫛谷源助	同	同
大川清平	同	同
小藤平松	同	同
酒井錦三郎	同	同
小林秋本	鐵道書記	同
横山源平	同	同
中山名吉	同	同
山本晴民	同	同
染原太郎	同	同
無類齊藤	同	同
坂川秀五郎	同	同
利根川宗一	同	同
坪内榮太郎	同	同
高橋之助	同	同
野口惟清	同	同
平野村可綱	同	同
萬田雄八郎	同	同
鳳巢吉次郎	同	同
杉山友吉	同	同
佐澤太郎	同	同
工藤久藏	同	同
今井金三郎	同	同
中井源三	同	同
相羽重吉	同	同
櫛谷源助	同	同
大川清平	同	同
小藤平松	同	同
酒井錦三郎	同	同
小林秋本	同	同
横山源平	同	同
中山名吉	同	同
山本晴民	同	同
染原太郎	同	同
無類齊藤	同	同
坂川秀五郎	同	同
利根川宗一	同	同
坪内榮太郎	同	同
高橋之助	同	同
野口惟清	同	同
平野村可綱	同	同
萬田雄八郎	同	同
鳳巢吉次郎	同	同
杉山友吉	同	同
佐澤太郎	同	同
工藤久藏	同	同
今井金三郎	同	同
中井源三	同	同
相羽重吉	同	同
櫛谷源助	同	同
大川清平	同	同
小藤平松	同	同
酒井錦三郎	同	同

氏名	陸軍官等位勳功爵	賜金
上阪信正	瑞七等	一四〇
由良信實	旭七等	同
梶山卓信	瑞八等	一〇〇
中林清治	同	同
山川野元	同	同
中野村	同	同
河津謙	同	同
中根辰次郎	同	同
藏本義作	同	同
根津洋平	同	同
中野村	同	同
岩矢部	同	同
佐藤助	同	同
小室弘	同	同
戸祭太治	同	同
小池新三郎	同	同
幸田太郎	同	同
北澤松	同	同
小戸橋	同	同
小永井	同	同
大西清治	同	同
三輪盛	同	同
佐藤太郎	同	同
小永井	同	同
大西清治	同	同
三輪盛	同	同
佐藤太郎	同	同
小永井	同	同
大西清治	同	同
三輪盛	同	同
佐藤太郎	同	同
小永井	同	同
大西清治	同	同
三輪盛	同	同
佐藤太郎	同	同
小永井	同	同
大西清治	同	同
三輪盛	同	同
佐藤太郎	同	同
小永井	同	同
大西清治	同	同
三輪盛	同	同
佐藤太郎	同	同

氏名	陸軍官等位勳功爵	賜金
下山鎌次郎	瑞八等	一〇〇
堀内茂助	同	同
鈴木喜一郎	同	同
田中助資	同	同
清水楠一郎	同	同
上田桂九郎	同	同
關口屋	同	同
土屋為常	同	同
定治郎	同	同
永田熊次郎	同	同
柳原宗助	同	同
三浦雄三郎	同	同
北澤多喜藏	同	同
十米之助	同	同
仲定松	同	同
藏見林	同	同
金子太郎	同	同
治市	同	同
敬又吉	同	同
西田嘉治	同	同
中正義	同	同
六吉	同	同
澄一郎	同	同
原尾	同	同
梅次郎	同	同
金主太郎	同	同
正名二郎	同	同
愛助	同	同
勇次郎	同	同
名	陸軍官等位勳功爵	賜金

氏名	陸軍官等位勳功爵	賜金
土屋覺次郎	瑞八等	一〇〇
倉本治三郎	同	同
中村高藏	同	同
貴島助一	同	同
小倉元次郎	同	同
鵜飼敬助	同	同
小川平三郎	同	同
小藤根次	同	同
酒井錦三郎	同	同
大川清平	同	同
小藤平松	同	同
酒井錦三郎	同	同
小林秋本	同	同
横山源平	同	同
中山名吉	同	同
山本晴民	同	同
染原太郎	同	同
無類齊藤	同	同
坂川秀五郎	同	同
利根川宗一	同	同
坪内榮太郎	同	同
高橋之助	同	同
野口惟清	同	同
平野村可綱	同	同
萬田雄八郎	同	同
鳳巢吉次郎	同	同
杉山友吉	同	同
佐澤太郎	同	同
工藤久藏	同	同
今井金三郎	同	同
中井源三	同	同
相羽重吉	同	同
櫛谷源助	同	同
大川清平	同	同
小藤平松	同	同
酒井錦三郎	同	同

氏名	陸軍官等位勳功爵	賜金
上阪信正	瑞七等	一四〇
由良信實	旭七等	同
梶山卓信	瑞八等	一〇〇
中林清治	同	同
山川野元	同	同
中野村	同	同
河津謙	同	同
中根辰次郎	同	同
藏本義作	同	同
根津洋平	同	同
中野村	同	同
岩矢部	同	同
佐藤助	同	同
小室弘	同	同
戸祭太治	同	同
小池新三郎	同	同
幸田太郎	同	同
北澤松	同	同
小戸橋	同	同
小永井	同	同
大西清治	同	同
三輪盛	同	同
佐藤太郎	同	同
小永井	同	同
大西清治	同	同
三輪盛	同	同
佐藤太郎	同	同
小永井	同	同
大西清治	同	同
三輪盛	同	同
佐藤太郎	同	同
小永井	同	同
大西清治	同	同
三輪盛	同	同
佐藤太郎	同	同

氏名	陸軍官等位勳功爵	賜金
下山鎌次郎	瑞八等	一〇〇
堀内茂助	同	同
鈴木喜一郎	同	同
田中助資	同	同
清水楠一郎	同	同
上田桂九郎	同	同
關口屋	同	同
土屋為常	同	同
定治郎	同	同
永田熊次郎	同	同
柳原宗助	同	同
三浦雄三郎	同	同
北澤多喜藏	同	同
十米之助	同	同
仲定松	同	同
藏見林	同	同
金子太郎	同	同
治市	同	同
敬又吉	同	同
西田嘉治	同	同
中正義	同	同
六吉	同	同
澄一郎	同	同
原尾	同	同
梅次郎	同	同
金主太郎	同	同
正名二郎	同	同
愛助	同	同
勇次郎	同	同
名	陸軍官等位勳功爵	賜金

第7141号 叙任及辞令

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
七〇 同 同 同 同 同 同 同 同 八〇 五〇 同 同 同 同 同 八〇 同 五〇 同 同 同 同 同 三五 同 同 同 同 同 六〇 同 同 三五 同 同 同 六〇 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 三〇 三五 六〇 同 同 同	通信技手 同 通信技手 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 通信技手 元通信技手 通信技手 同 同 同 同 同 同 元通信技手 統監府通信技手 元通信技手 同 同 同 同 同 同 同 同 同 元通信技手 通信技手 同 同 同 同 同 同	池松、神崎、佐々木、高島、都築、並木、田邊、石川、村上、高木、最相、佐藤、鈴木、菊地、小松、矢田、土江田、吉田、興本、川上、友田、河野、安倍、赤部、油田、小村、鶴井、野村、萩野、今堀、井今、四谷、吉田、勝田、大村、岡部、米澤、塚越、小谷、大丸、坂垣、德成、白壁、江口、横井、森田、齋藤、鈴木、關、高橋、八島、島岡、小池、門田、山本、松浦、内藤、馬場、林、多田、中島、永田
		名（右ヨリ）：恒吉 喜次郎 善武郎 清吉 太一 佐郎 信保七 嘉藏 正藏 楠七 三一 次郎 秀郎 賴七 圧治 重昂 鏡藏 喜藏 定平 貞通重 三男 鈩夫 武隆郎 八遣 磯吉 濟一郎 末次 太清 保三郎 滴三吾 潤次郎 竹貞郎 政郎 義平 万男 濟雄 寳剛太 大治 濟且 重并 武騎 謙三 大一 才二夫 正吉 盛郎 熙一 七郎 青次規 彰敏 増次 正轍 之藏 一郎 次一 長英藏 總

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 六〇 同 同 同 三五 六〇 同 同 同 同 同 三五 六〇 同 同 三五	同 同 同 同 同 元通信技手 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 通信技手 元通信技手 同 通信技手 元通信技手 通信技手 通信技手 通信技手 元通信技手	太田、小山、倉澤、神道、岡本、石井田、長澤、園田、長野、諸越、加藤、田中、下村、小川原、金井、林、相馬、須田、西村、能登、坂井、小島、佐野、岩田、澤村、中市、加藤、能智、森山、伊藤、高橋、原田、坂部、永澤、植木、荒井、三村、米川、谷藤、須道、東道、山内
		名（右ヨリ）：廣吉 理平 義三 鹿内 七 冨吉 武彦 正一國郎 喜賴興 多次 利十 新治郎 爲一 傳吉 代平 喜德市 綿治 興太郎 六郎 東太郎 冬四郎 卯之吉 次鑑 小盛郎 吾一助 兼次郎 壁松 保次郎 大濟 能輔兒 安藏 甚次郎 熊之助 直方 次郎 源次郎 彌一郎

敍賜			
勲等	賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
旭七等	一八〇	通信屬	岩永 莊一
瑞七等	一五〇	通信手	田口 長之助
同	同	同	四下 筑月
瑞八等	八〇	同	伊藤 吉三郎
同	同	同	宮居 宗吉郎
同	同	同	前田 次郎
瑞七等	一三〇	同	並木 英三
同	一二五〇	同	戸口田 友次郎
瑞八等	七〇	同	丸山
同	同	同	白木 藤三
同	同	同	阿波 寅雄
同	同	同	井島 善信
同	同	同	田中 德松
同	同	同	井上 忠雄

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
六〇	通信屬	安江 秀一

敍賜			
勲等	賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
瑞七等	一五〇	通信技手	目黑 忠次
同	同	通信屬	小杉 保之丞
同	同	同	中島 正佐
瑞八等	八〇	通信手	坂井 喜一郎
瑞七等	一三〇	同	辻 又藏
同	同	同	小野 政吉
瑞八等	七〇	同	湊 國助
同	同		鈴木 仁八郎
瑞七等	一三〇	通信技手	駒ヶ嶺 之助
同	同	通信手	牧田 貝光藏
瑞八等	八〇		日笠 治郎
同	同		山下 正太郎
同	同		黑澤 安易德
同	同		金子 四郎
同	同		倉田 敬三

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
八〇		池田 豐男

敍賜			
勲等	賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
旭四等	五〇〇	閑院宮家令從六位勲五等	松井 修
旭七等	一五〇	伏見宮家從	後藤 美壽
旭七等	一二〇〇	久邇宮家從	武田 健三
同 旭八等	一五〇	梨本宮家從	晉田 岩松

本欄敍賜ノ項ニ「七級（年金一〇〇）旭八等」トアルハ明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ功七級金鵄勲章並ニ年金百圓及勲八等白色桐葉章ヲ授ケ賜ヒシ者又同項ニ「旭八等一五〇」トアルハ同シク勲八等白色桐葉章及金百五十圓ヲ授ケ賜ヒシ者又賜金ノ項ニ單ニ「五〇」トアルハ同シク金五十圓ヲ賜ヒシ者ナルモ卷帙浩澣ニ涉ルヲ以テ其要略ノミヲ掲ク其他皆此例ニ倣フ

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
同	同	正 藤太郎 國
五〇	陸軍官等位勲功爵	杉浦 智

敍賜			
勲等	賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
瑞八等	七〇	陸軍省雇員	藤堂 德松
同	同	看病人	宇野 次郎
同	同	同	河野 師染

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
五〇	看病人	古府 藏太郎
同	同	太田 喜太郎
同	同	阿部 瑠八
同	同	大久保 久太郎
同	同	前田 守一
同	同	西川 正作
同	看病人勲八等	松島 寛造
同	看病人	房 亀太郎
同	同	楢原 房次郎
同	同	植松 武太郎
三五	同	東 房楠
同	同	平山 信太郎
同	元磨工	黑田 茂二

敍賜			
勲等	賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
旭六等	四〇〇		黑澤 羅吉

○明治三十九年四月一日

敍賜			
勲等	賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
瑞六等	一八〇		皆川 治廣
同	同		高橋 粂三

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
八〇	從七位勲六等	西村 新一郎
同	從五位勲六等	岩澤 丙吉
同		和田 純
同		吉田 次郎
同		横山 謙一郎
同		西海 半靜
同		佐竹 枝四郎
同		小山 信之助
同		古川 作之天
同	從六位	櫻井 義助
同		背木 半古
同		筵田 寳喜作
同		佐藤 顯
同		武内 兵衞
同	陸軍助教	鹽谷 萬之助
同		四篠 仁仁選
同		蘆塚 利仲
同		兒玉 彌彦
同		杉山 次郎
同		安田 保俊高

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 八〇	元鐵道書記 正八位	水野 賢資、杉山 令二、倉橋 奈良造、倉賀野 正、相間 嵐三郎、青木 市三郎、細川 倉藏、淺井 英濟、黑田 英之助、井上 五之郎、吉本 大吉、笠田 岩敏野、山本 生、成田 己、松田 識輔、田中 魁治、井上 典郎、柳田 次郎、大石 孝三郎、稲口 米高德、星野 勇夫、田邊 九門、入江 太郎彦、宮川 好治郎、眞平